工 事 名 令和7年度 安曇野市消防団第6分日	団第1部旧詰所 解体コ	金抜設計書						
施工箇所安曇野市明科中川手								
設 計 概 要 施 工 方 法 請 負								
○安曇野市消防団第6分団第1部旧詰所の解体工事一式 ・旧詰所 混構造 2階建て1棟の解体	施工期間	契約日~令和8年2月27日						
・同敷地内、火の見櫓の解体 ・同敷地内、防火水槽(地下埋設)の撤去 ・解体撤去後、敷地内の整地	担当課	危機管理課 消防防災係						
	工事担当課	財産管理課 施設経営担当						
	契約保証方法	金銭的保証						
	・別途指定する建設機械については排出ガス対策型の使用を原則とする。 ・この設計書で施工機械・仮設材の規格、調査条件等の記載及び「人、h、ℓ、%、日、時、工数、空m3、掛m2、日・回、日回、供用日、月」の単位により見積りのための参考数量を示したものは任意扱いです。したがって、内訳書の作成や契約を拘束するものではありません。ただし、指定した場合を除きます。							



	名 称	摘 要	数量	単位	単 価	金額	備考
	令和7年度 安曇野市消防団 第6分	団第1部旧詰所 解体工事					
		総 括 表					
I	直接工事		1.00	式			
	直接工事費計						
П	共通費						
	共通仮設費 指定仮設		1.00	式			
	比率計上		1.00	式			
	純工事費						
Ш	現場管理費		1.00	式			
	工事原価						
IV	一般管理費		1.00	式			
	積算価格						
	工事金額						
V	消費税						10%
	総合計						

	名 称	摘 要	数量	単位	単 価	金額	備考
I	直接工事						
		種 目 内 訳					
Α	解体工事		1.00	式			
	I -計						

	名称	規格	数量	単位	単 価	金額	備 考
П-А	指定仮設						
		科目内訳書					
1	共通仮設費 指定仮設		1.0	式			
	Ⅱ-A. 合 計						

	名 称	規格	数量	単位	単 価	金額	備考
1	指定仮設						
	交通誘導員	8(解体)+2(給排水切離分)人工想定	10.0	人			
	仮囲い	成形鋼板 H3.0 3カ月	29.0	m			
	仮囲い	ガート、フェンス W3.0*H1.8 3カ月	20.7	m			
	伸縮ゲート	W3.0*H1.8 3カ月	1.0	基			
	進入路養生 鋼板敷込み	鋼板t22 3カ月 車輌切り返し部分	55.7	m²			
	1. 小計						

	名 称	規格	数量	単位	単 価	金額	備考
А	直接工事費	数量は参考数量					
1	直接仮設工事		1.0	式			
2	事前撤去		1.0	式			
3	解体工事		1.0	式			
4	分別·収集·積込		1.0	式			
5	発生材運搬費		1.0	式			
6	発生材処分費		1.0	式			
	参考:事前撤去物明細添付						
7	給水管閉栓、公共桝切離工		1.0	式			
	A. 合計						

	名 称	規格	数量	単位	単 価	金額	備考
1	直接仮設工事						
	外部足場	クサビ緊結式足場手摺先行建地幅600㎜期間3カ月	412.0	m²			
	防音シート		412.0	m²			
	解体用重機		2.0	回			
	高所作業車		1.0	日			
	クレーン車		1.0	日			
	埋戻し	砕石	41.0	m3			
	整地	敷地全体	203.0	m²			
	解体後侵入防止柵 松丸太	φ120*2m打込@2.0m	21.0	本			
	トラロ−フ°	φ12*2段	80.0	m			
	設置作業費		1.0	式			
	直接仮設小計						

名 称	規格	数量	単位	単 価	金額	備考
仮設養生						
外部 アスペースト含有材撤去養生	アス へ、スト L3 アスファルトルーフィング	106.0	m²			
外部	アスペ、ストL3 外壁ラス下地モルタル塗装	532.0	m²			
7スベスト含有材撤去養生 外部	アスベストL3					
7スベスト含有材撤去養生 内部	^ うンダ 防水シート アス^ ストL3	112.0	m²			
7スベスト含有材撤去養生 内部	内壁ラス下地モルタル塗装 アスベストL3	190.0	m²			
77.ベスト含有材撤去養生 内部	クッションフロア アスペ [*] スト L 3	23.7	m²			
アスベスト含有材撤去養生	塩ビシート	3.3	m²			
内部 アスバスト含有材撤去養生	アスヘ [*] ストL3 中木タイル	1.0	式			
アスペ、スト含有材撤去養生	7スベストL3 副資材消耗品費	1.0	式			
アスバスト含有材撤去養生	同上処分費	1.0	式			
仮設用水		1.0	式			
X X X X X X X X X X		1.0	ΣV			
仮設養生小計						
1. 小計						

	名 称	規格	数量	単位	単 価	金額	備考
2	事前撤去	(事前撤去物明細参照)					
	解体、撤去 電気消防設備機器類		1.0	式			
	解体 内外設備機器		1.0	式			
	分別収集積込 電気消防設備機器類		1.0	式			
	分別収集積込 内外設備機器		1.0	式			
	運搬 電気消防設備機器類		1.0	式			
	- 単数 単数 内外設備機器		1.0	式			
	内外設備機器 処分 内外設備機器		1.0	式式			
	内外放佣機器 処分 電気消防設備機器類		1.0	式			
	电风用的故慵懒奋舆		1.0	八			
	建物内外残置物	混合廃材、家具備品類	2.0	m3			
	(大河) 17 17 X 巨 70	(此口)尤们、外穴 闸山 炔	2.0	1110			
	電気配線引込切断処理	端部処理共	1.0	式			
	CAMPINATION ARTICLE	IN PLACE AND A	2,0				
	給水管引込切断処理	端部処理共 別途工事	1.0	式			
	排水管引込切断処理	端部処理共 別途工事	1.0	式			
	2. 小計						

	名称	規格	数量	単位	単 価	金額	備考
3	解体工事						
	上屋 混構造解体	(下記項目以外)	144.0	m²			
	火の見櫓		1.0	基			
	本体 基礎コンクリート解体	有筋	52.9	m3			
	デッキプレートスラブコンクリート	有筋	7.9	m3			
	階段踏み面モルタル		0.1	m3			
	外部 屋根板金解体		106.0	m²			
	アスファルトルーフィング゛	72^* ahL3	106.0	m²			
	屋根下地板	合板類	106.0	m²			
	屋根下地鉄骨解体	C鋼母屋	89.2	m²			
	外壁もルタル	7 スベストL 3	279.0	m²			
	アルミサッシ建具		27.5	m²			
	ベランダ防水シート	アスベストL3	22.0	m²			
	断熱材GW	t50	70.9	m²			
	断熱材スタイロ	t50	47.2	m²			

名称	規格	数 量	単位	単 価	金額	備考
内部 木製建具		42.6	m²	_		
建物内装撤去	天井 石膏ボード類	133.0	m²			
建物内装撤去	天井 合板類	18.2	m²			
建物内装撤去	内壁 石膏ボード類	113.0	m²			
建物内装撤去	アスベストL3 内壁 モルタル塗装	190.0	m²			
建物内装撤去	内壁 合板類	19.2	m²			
建物内装撤去	内壁 パルブース	2.2	m²			
建物内装撤去	内壁 タイル	7.5	m²			
建物内装撤去	アスベストL3 床 タイル巾木	1.0	m²			
建物内装撤去	アスベストL3 床 クッションフロア、塩ビシート	27.0	m²			
建物内装撤去	床 フローリング	6.6	m²			
建物内装撤去	床合板類	10.2	m²			
建物内装撤去	床畳	38.9	m²			
その他 オーバ [・] ースライタ [・] ー	6360*3400	1.0	基			
スチールシャッター	1500*2400	1.0	基			
雨水排水溝	W180	9.0	m			
3. 小計						

	名称	規格	数量	単位	単 価	金額	備考
4	分別・収集・積込み						
	コンクリート塊	有筋	57.0	m3			
	コンクリート塊	無筋	8.0	m3			
	デッキプレートスラブコンクリート		7.9	m3			
	階段踏み面モルタル		0.1	m3			
	木材	構造材系	3 . 5	m3			
	木材	羽柄その他	5.5	m3			
	建物外壁撤去	アスベストL3 ラス下地モルタル	5.6	m3			
	建物外壁撤去	<mark>アスベストL3</mark> ベランダ床防水シート	0.1	kg			
	建物外壁撤去	断熱材GW	35.5	m3			
	建物外壁撤去	断熱材スタイロ	2.4	m3			
	フローリング	t12	0.1	m3			
	木製建具		1.3	m3			
	内装材	天井 石膏ボード	1.2	m3			
	内装材	天井 合板類t6	0.1	m3			
	 内装材	アスベストL3 内壁 ラス下地モルタル	3.8	m3			
	内装材	内壁 石膏ボードt12	0.8	m3			

名称	規格	数量	単位	単 価	金額	備考
内装材	内壁 ラスボード	0.1	m3			
内装材	内壁 合板類t6	0.1	m3			
内装材	内壁 トイレブース	0.1	m3			
内装材	床磁器質外加	0.1	m3			
内装材	<mark>アスベストL3</mark> 床 クッションフロア.塩ビシート	0.1	m3			
内装材	床畳	2.3	m3			
内装材	<u> アスベストL3</u> 床 タイル巾木	1.0	式			
金属類	屋根材が一鋼板	585.0	kg			
		109.0	kg			
金属類	鉄骨H鋼	11.5	t			
金属類	アングル、C鋼関係	1.4	t			
金属類	アングル、C鋼関係	1.5	t			
金属類	アルミサッシ枠	133.0	kg			
木くず	ガラ板,ヌキ,枠,巾木廻り縁	3.1	m3			
カ゛ラス		108.0	kg			
タイル・陶器類	N 12.6	165.0	kg			
アスファルトルーフィング	77.^* 7.}L3	109.0	kg			

名称	規格	数量	単位	単 価	金額	備考
下地合板	t12	1,261.0	kg			
<i>५</i> ५३	t60	17.5	枚			
オーハ゛ースライタ゛ー	300*300	1.0	基			
スチールシャッター		1.0	基			
排水溝W180		90.0	kg			
4. 小計						

	名称	規格	数量	単位	単 価	金額	備考
5	発生材運搬費						
	コンクリート塊	有筋	57.0	m3			
	コンクリート塊	無筋	8.0	m3			
	デッキプレートスラブコンクリート		7.9	m3			
	階段踏み面モルタル		0.20	m3			
	木材	構造材系	3 . 5	m3			
	木材	羽柄その他	5 . 5	m3			
		7スベストL3					
	建物外壁撤去	ラス下地モルタル	5.6	m3			
	建物外壁撤去	<mark>アスベストL3</mark> ベランダ床防水シート	0.1	kg			
	建物外壁撤去	断熱材GW	35 . 5	m3			
	建物外壁撤去	断熱材スタイロ	2.4	m3			
	フローリング	t12	0.1	m3			
	木製建具		1.3	m3			
	内装材	天井 石膏ボード	1.2	m3			
	内装材	天井 合板類t6	0.1	m3			
	内装材	アスベストL3 内壁 ラス下地モルタル	3.8	m3			
	 内装材	内壁 石膏ボードt12	0.8	m3			

名 称	規格	数量	単位	単 価	金額	備考
内装材	内壁 ラスボード	0.1	m3			
内装材	内壁 合板類t6	0.1	m3			
内装材	内壁 トイレブース	0.1	m3			
内装材	床磁器質タイル	0.1	m3			
内装材	アスベストL3 床 クッションフロア.塩ビシート	0.1	m3			
内装材	床畳	2.3	m3			
内装材	アスペ [・] ストL3 床 タイル中木	1.0	式			
金属類	屋根材が一鋼板	585.0	kg			
金属類	雨樋水切りその他板金系	109.0	kg			
金属類	鉄骨H鋼	11.5	t			
金属類	アング゛ル、C鋼関係	1.4	t			
金属類	アング・ル、C鋼関係	1.5	t			
金属類	アルミサッシ枠	133.0	kg			
木くず	ガラ板,ヌキ,枠,巾木廻り縁	3.1	m3			
ガ・ラス		108.0	kg			
タイル・陶器類		165.0	kg			
アスファルトルーフィンク゛	77A* AhL3	109.0	kg			

名称	規格	数量	単位	単 価	金額	備考
下地合板	t12	1,261.0	kg			
タケミ	t60	17 . 5	枚			
オーハ゛ースライタ゛ー	300*300	1.0	基			
スチールシャッター		1.0	基			
排水溝W180		90.0	kg			
5. 小計						

	名 称	規格	数量	単位	単 価	金額	備考
6	発生材処分費						
	コンクリート塊	有筋	57.0	m3			
	コンクリート塊	無筋	8.0	m3			
	デッキプレートスラブコンクリート		7.9	m3			
	階段踏み面モルタル		0.20	m3			
	木材	構造材系	3.5	m3			
	木材	羽柄その他	5.5	m3			
	建物外壁撤去	アスベストL3 ラス下地モルタル	5.6	m3			
	建物外壁撤去	<mark>アスベストL3</mark> ベランダ床防水シート	0.1	kg			
	建物外壁撤去	断熱材GW	35 . 5	m3			
	建物外壁撤去	断熱材スタイロ	2.4	m3			
	フローリング゛	t12	0.1	m3			
	木製建具		1.3	m3			
	内装材	天井 石膏ボード	1.2	m3			
	内装材	天井 合板類t6	0.1	m3			
	内装材	アスヘ [*] スト L3 内壁 ラス下地モルタル	3.8	m3			
	内装材	内壁 石膏ボードtl2	0.8	m3			

名 称	規格	数量	単位	単 価	金額	備 考
内装材	内壁 ラスボード	0.1	m3			
内装材	内壁 合板類t6	0.1	m3			
内装材	内壁 ドルブース	0.1	m3			
内装材	床磁器質タイル	0.1	m3			
内装材	アスペ ストL3 床 クッションフロア.塩ビシート	0.1	m3			
内装材	床畳	2.3	m3			
内装材	アスペーストL3 床 タイル中木	1.0	式			
金属類	屋根材が一鋼板	585.0	kg			
金属類	雨樋水切りその他板金系	109.0	kg			
金属類	鉄骨H鋼	11.5	t			
金属類	アングル、C鋼関係	1.4	t			
金属類	アングル、C鋼関係	1.5	t			
金属類	アルミサッシ枠	133.0	kg			
木くず	ガラ板,ヌキ,枠,巾木廻り縁	3.1	m3			
カ゛ラス		108.0	kg			
タイル・陶器類		165.0	kg			
アスファルトルーフィング	7a^ all3	109.0	kg			

名 称	規格	数量	単位	単 価	金額	備考
下地合板	t12	1,261.0	kg			
<i>99</i> 3	t60	17.5	枚			
オーハ゛ースライタ゛ー	300*300	1.0	基			
スチールシャッター		1.0	基			
排水溝W180		90.0	kg			
6. 小計						

名 称	規格	数量	単位	単 価	金額	備考
事前撤去物明細	※参考数量					
電気設備工事関連 照明器具	室内直管蛍光灯器具17 外部灯3 その他室内5	25.0	基			
コンセントスイッチ類	コンセント 13 スイッチ類 18	31.0	個			
電線類	建物電気配線類	1.0	式			
誘導灯類	赤色灯 火の見櫓スピーカー	2.0	台			
TVアンテナ	BSアンテナ1 八木アンテナ1	2.0	台			
屋内分電盤	1F	1.0	台			
機械設備工事関連 洋式便器	2F	1.0	台			
和便器	1F	1.0	台			
小便器	2F	1.0	台			
SUS流し台	2550*550 1台 2F	1.0	台			
手洗器	2F	1.0	台			
換気扇	 壁付 2F	2.0	台			
		38.0	m			
		32.5	m			
不凍栓類		3.0	個			
がス配管		2.0	m			

	名称	規格	数量	単位	単 価	金額	備 考
7	給水管閉栓、公共桝切離工						
	本管部サドル閉栓工事 資材費		1.0	式			別紙1
	配管工費	20mm1□	1.0	式			別紙1
	土工費	舗装切断・取壊し・積込運搬工 掘削・埋戻工、路盤工、アスファルト舗装工	1.0	式			別紙1
	誘導員	2人工 共通仮設に計上	1.0	式			
	宅内部既設量水器ボックス等撤去工		1.0	式			別紙1
	公共桝切離工						
	配管工費	100A2か所 舗装切断・取壊し・積込運搬工	1.0	式			別紙1
	土工費	掘削·埋戻工	1.0	式			別紙1
	申請手続き費 給水設備申請竣工検査手数料	申請料含む	1.0	式			
	排水設備申請竣工検査手数料	申請料含む	1.0	式			
	運搬費	重機運搬 BH=0.13	1.0	回			

	名称	規格	数量	単位	単 価	金額	備考
別紙1	給水管閉栓、公共桝切離工						
73 3/12-42	本 管部 サドル閉栓工事 資材費						
	251425	サト、ル付分水栓 閉栓キャップ。 φ 20	1.0	個			
		[安曇野市_上水] 水道用識別マーカー	1.0	個			
		[R6_安曇野市_上水] 埋設戶卜(市道:配水管用) 青地白文字 2倍折込 W=150mm	1.5	m			
	配管工費						
		硬質塩化ビニル管切断工《据付管切断》 20mm	2.0				
		小口径鋼管継手工(ねじ込み接合) 撤去(再使用しない)(0.3) Φ20mm	1.0	П			
		小口径鋼管継手工(ねじ込み接合) 設置(1.0) Φ20mm	1.0	П			
		管明示シート工(手間のみ)	1.5	m			
	土工費						
		舗装版切断 アスファルト舗装版 15cm以下	5 . 00	m			
		舗装版取壊し積込み工 バックホウ山0.13	1.50	m2			
		アスファルト塊運搬 As塊・Co塊運搬費[2tDT] 小型バックホウ山0.13m3 7.0Km以下	0.10	m3			
		As掘削廃材	0.15	t			
		管路掘削工[小型バックホウ] BH=0.13	1.65	m3			
		発生土運搬費[2tDT] 小型パックホウ山0.13m3 70Km以下	1.65	m3			
		建設発生土処分費	1.65	m3			
		管路埋戻工[小型バックホウ] 砂埋め戻しエ	0.30	m3			
		管路埋戻工[小型バックホウ] RC40-0	0.84	m3			

名 称	規格	数量	単位	単 価	金額	備考
	下層路盤工 RC40-0 H=200	1.50	m2			
	上層路盤工 25-0	1.50	IIIZ			
	工作時盤工 25 0 H=110	1.50	m2			
	アスファルト舗装工(人力)	1.00	1112			
	再生密粒度13F	1.50	m2			
宅内部既設量水器ボックス等撤去工						
	既設量水器ボックス撤去工					
		1.00	箇所			
	止水栓撤去工	1.00	箇所			
	量水器撤去工					
	Ф13	1.0	箇所			
	管路掘削工[小型バックホウ] BH=0.13	0.5	m3			
	機械埋め戻し工	0.0	1110			
	良質土 BH=0.13	0.5	m3			
公共 桝切離工 配管工費						
	配管切断(樹脂管類)					
	100A	2.0	加所			
	硬質塩化ビニル管DV継手(排水用)					
	キャップ ク100	1.0	個			
	硬質塩化ビニル管継手工 Φ100mm	1.0				
	Ψ100mm	1.0	Н			
土工費						
	舗装版切断	4.0	m			
	舗装版取壊し積込み工	4.0	111			
	バックホウ山0.13m3	1.0	m2			
	アスファルト塊運搬 As塊・Co塊運搬費[2tDT]					
	小型バックホウ山0.13m3 7.0Km以下	0.1	m3			
	As掘削廃材	0.1	t			
	■ 管路掘削工[小型バックホウ]	0.1	·			
	BH=0.13	1.5	m3			
	管路埋戻工[小型バックホウ] RC40-0	1.5	m3			

現場説明書

安曇野市 総務部 財産管理課 施設経営担当

1. 件名(工事名称)

令和7年度 安曇野市消防団第6分団第1部旧詰所 解体工事

2. 工事場所: 安曇野市 明科中川手

3. 工事概要: ・第6分団第1部旧詰所 混構造 2階建て1棟の解体

・同敷地内、火の見櫓の解体

・同敷地内、防火水槽(地下埋設)の撤去

解体撤去後、敷地内の整地

4. 工期 契約日 から 令和8年1月30日まで → 令和8年2月27日まで

5. 一般事項について

(1) 現場説明会

本件の内容は、現場、入札心得、入札公告、特記仕様書、設計図書、安曇野市建築工事の手引等関連する仕様書類、長野県建設工事標準請負契約約款に基づき市が定める契約書(案)及び現場説明書(以下「設計図書等」という。」)によるものとし、現場説明会は実施しない。

(2) 設計図書等に対する質問及び回答について

設計図書等に関する問い合わせは、「入札公告」記載のとおりとし、入札執行が完了するまでの間、本件に関しての面談又は電話(ただし、指定の問い合わせ先は除く。)等は一切認めない。

(3) 工事費内訳書の提出

入札時の工事費内訳書提出については「入札公告」による。

- (4) 工事費内訳書記載数量は参考数量とする。
- 6. 本工事における特記事項
 - (1) 前回入札との相違点

金抜設計書「1 指定仮設 → 進入路養生 鉄板敷込み」について数量変更

(2) 工事用地等

本工事に必要な用地は、以下のとおり。

使用目的	使用場所·面積				
資材置場	敷地内等協議による				
駐車場	同上				
現場事務所	同上				

(3) 排水への対応

本工事施工に伴う排水は、沈殿処理・Ph 管理等の各法令を守り、自然環境等へ悪影響を及ぼすことのないよう適正に処理し、特に指示のある場合を除き近傍の公共用水域又は排水路等に排水する。また、排水路等は、常に適切な維持管理を行い、従前の機能を損なわないようにすること。ただし、周辺水路についての排水は、管理者と協議のうえ、同意を得ること。

- (4) 工事着手前に事前のお知らせをおこなうこと。また看板等を設置して、工事内容の周知を行うこと。
- (5) 夜間、早朝及び休日での施工を実施する場合は監理者・監督員と打合せを行い、監理者・監督員の承諾を得たのちに、必要な場合は近隣への事前通達のうえ施工すること。
- (6) 周辺住民の安全に十分配慮すること。
- (7) 感染症対策は十分に講じること。
- (8)各官公庁手続きについて、 事前に監督員・監理者が申請書類等の内容確認をしてから提出すること。

(9) 残土関係

・本工の施工において生じる発生土の処分については、下記の処分先を想定して処分費、 運搬費を計上している。

なお、受注者の都合による処分先の変更については、原則として設計変更しない。

• 建設発生土

受入れ場所・仮置き場所	処分方法	運搬距離	特記事項			

距離指定の場合、残土運搬距離は設計変更の対象とする。

- (10)この工事は執務並行型の工事である。
- (11) 本工事は、「週休2日工事実施要領」週休2日工事の対象である。 なお、週休2日の取組実績に応じて、単価の補正を行い、設計変更を行うものとする。 (工事発注時は4週8休(通期)を想定した設計単価で積算している)
- (12) 本工事は、埋蔵文化財包蔵地に該当するため、文化課文化財保護係と立会日程の調整をすること。(通知書は提出済)
- 7. 本工事に関連する別途発注工事の予定

発注機関	工事名	工期	工事内容	備考						
・本工事に近接・競合する工事の予定										
発注機関										

・改修工事における工事個所の順番は図のとおり。

8. 安全対策関係

① 交通誘導警備員

受注者が交通誘導業務を他人に委託する場合は、受託者は警備業法第4条の規定により公安委員会から警備業の認定を受けた者であること。

② 安全施設

発注者が想定している仮設(ゲート、仮囲い等)については、仮設計画図に示したとおり。受注者は明示された条件に基づき、自主的に工法を選定し、構造設計等必要な検討を行い施工するものとする。(任意仮設)

なお、明示した条件と現場が一致しない場合や明示されていない条件について予期することができない特別な状態が生じた場合において、必要と認められるときは設計変更の対象とする。

9. 工事用道路関係

現場への工事関係車両の入退場の路線は事前に監督員と協議をすること。

10. その他

火災保険 等への加入期間は、請負契約後から契約工期末日後 14 日までとする。 加入しない場合において、その施工について第3者等に損害を及ぼしたときは、受 注者がその損害を賠償しなければならない。

特記仕様書(共通事項)

総務部 財産管理課

1. 保険等

建物(施設)引渡しまで工事受注者は、現場説明事項・施工条件明示事項に定める保険に加入しなければならない。加入期間は原則として工事着手日とし、その終期は工事しゅん工後14日以降とする。

2. 各種調査等に対する協力について

本工事について、発注者が自ら又は、発注者が指定する第三者が行う下記調査等に対して、 協力しなければならない。

- (1)公共事業労務費調査等
- (2) 資材調査、建設副産物実態調査等
- 3. 工事検査

施工途中において総務部契約検査課職員または、発注機関の長の指定する職員による抜打ち 検査を実施することがあるので、検査に協力すること。

4. 被害届等

暴力団関係者から工事妨害による被害を受けた場合は、被害届を速やかに警察に提出すること。

- 5. 工事実績情報サービス (CORINS) の登録について
 - (1) 請負金額が500万円以上(税込)の工事については、工事実績情報サービス(CORINS)の登録をすること。
 - (2) 登録する場合は、「登録のために確認のお願い」を作成し、監督員の確認を受け、次に示す期間内に(一財)日本建設情報総合センター(JACIC)に登録の手続きを行うこと。また、登録機関発行の「登録内容確認書」が届いた場合は、速やかに監督員に提示すること。なお、変更時と完成時の間が10日間に満たない場合は、変更時の提出を省略できるものとする。
 - ① 工事受注時契約締結後10日以内
 - ② 登録内容の変更時変更契約締結後10日以内
 - ③ 工事完成時工事完成後10日以内
- 6. 施工体制台帳に係る書類について
 - (1) 工事受注者は、請負契約した全ての下請業者について、建設業法に定める「施工体制台帳」とそれに係る書類及び「施工体系図」を作成し、工事期間中工事現場に備え付けるとともに、その写しを監督員に提出すること。
 - (2) 「施工体系図」は工事関係者及び公衆の見やすい場所に掲示を行うこと。
 - (3) 次の業種についても請負契約に該当するため、(1)と同様とする。
 - ・1日で完了する請負契約、少額な作業・雑工の請負契約
 - ・クレーン作業、コンクリートポンプ打設等の日々の単価契約で行っている場合
 - ・クレーン等の業種オペレーターを機械と一緒にリース会社から借上げる場合

7. 主任技術者及び監理技術者の専任について

主任技術者又は監理技術者(以下「監理技術者等」という。)が専任を求められる工事である場合、監理技術者等を専任で設置すべき期間は契約工期が基本となるが、次の期間については、専任を要しない。なお、具体的な期間については、監督員との打合せにおいて定めることとする。

- ① 請負契約の締結後、現場施工に着手するまでの期間(現場事務所の設置、資機材の搬入、または仮設工事等が開始されるまでの期間)
 - ② 自然災害の発生又は埋蔵文化財調査等により、工事を全面的に一時中止している期間
 - ③ エレベーター等の工場製作を含む工事であって、工場製作のみが行われている期間
 - ④ 工事完成後、検査が終了し(発注者の都合により検査が遅延した場合を除く。)、事務 手続、後片付け等のみが残っている期間

8. 産業廃棄物等の取扱い

- (1) 廃棄物の処理に当たっては、受注者が自ら処理(分別、保管、収集、運搬及び処分の一連の行為)するときは、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」(以下「廃棄物処理法」という。)に基づき、適正に行うこと。
- (2) 廃棄物の処理の全部又は一部を委託する場合は、廃棄物処理法に基づく処理を業として許可を取得している者に委託すること。また、施工前に産業廃棄物処理委託契約書の写し、産業廃棄物処理業の許可証の写し、許可運搬車両一覧並びに処分地の案内図等をまとめた「廃棄物処理計画書」を監督員に提出すること。
- (3) しゅん工した時は、廃棄物ごとに処理数量を集計し、積込み状況の写真、処分状況の写真 を添付した「廃棄物等処理報告書」を監督員に提出するとともに、マニフェストA票、B2票、D票並 びにE票の原本(廃棄物の種類ごとに1セット)を提示すること。

9. 再生資源利用促進計画書等

「資源の有効な利用の促進に関する法律」(ラージリサイクル法)に基づき、受注者は、工事の着手前に「再生資源利用促進計画書」及び「再生資源利用計画書」を作成すること。

また、しゅん工後に「再生資源利用促進実施書」及び「再生資源利用実施書」を作成し、監督員に提出すること。

対象工事:ラージリサイクル法に規定する一定規模以上の工事

作成方法: COBRIS (建設副産物情報交換システム※) を利用すること。

※(一財)日本建設情報総合センター(JACIC)が提供する建設副産物の情報交換サービス 10.安全対策関係

- (1)工事現場においては、労働災害、公衆災害防止に努めるとともに、全作業員を対象に定期的に安全教育、研修及び訓練を行うこと。
- (2)安全教育、研修及び訓練については、工事期間中に月一回以上実施し、この結果は工事日 誌へ記録するほか工事写真等も整理のうえ提出すること。なお、これにより難い場合は、監 督員と協議するものとする。
- (3) 足場を設ける場合は、「「手すり先行工法に関するガイドライン」について」(厚生労働省基発第0424001号平成21年4月24日)の「手すり先行工法等に関するガイドライン」により、「働きや

すい安心感のある足場に関する基準」に適合する手すり、中さん及び幅木の機能を有する足場とし、足場の組立て、解体又は変更の作業は、「手すり先行工法による足場の組立て等に関する 基準」の2の(2)手すり据置き方式又は(3)手すり先行専用足場方式により行うこと。

11. 環境対策関係

- (1) 現場で使用する機械は、低騒音型、低振動型、排出ガス対策型建設機械とすること。
- (2) 夜間、早朝等の稼動を避けること。ただし、監督員の承諾を受けた場合はこの限りでない。なお、運搬ルートの選定に当たっては影響の少ないルートを選定すること。
- (3)汚水、汚濁、土砂の流失防止に努めること。また、表土復元等環境の回復に努めること。
- (4) 熱帯材合板型枠は、極力使用しないこと。

12. 過積載の禁止

- (1)工事の施工計画にあたって、施工計画書に次の事項を具体的に記載するとともに、施工時においても遵守すること。
 - ①積載重量制限を超過しての建設発生土の処理及び資機材(以下「資機材等」という。) の積載重量の厳重チェックを行うこと。
 - ②過積載を行っている資材等納入業者からの資機材等購入は行わないこと。
 - ③過積載を防止するため、資機材等の購入にあたっては、納入業者の利益を不当に害する ことのないようにすること。
 - ④資機材等の運搬には、さし枠装着車、物品積載装置等の不正改造した車輌及び不表示車等を使用しないこと。また、同車輌からの資機材等の引き渡しを受けないこと。
 - ⑤下請業者や資機材等納入業者を選定するにあたっては、交通安全に関する配慮に欠けた 者または車輌を使用した業務等において悪質かつ重大な事故を発生させた者を排除するこ と。
 - ⑥飛散の恐れがあるものについては、飛散しないような処置を行い運搬すること。
 - ⑦土砂等の運搬に関する事業者の選定に当っては、「土砂等を運搬する大型自動車による 交通事故の防止等に関する特別措置法」の目的に鑑み、同法第12条の規定に基づき届け出 た団体構成員の雇用に努めること。
- (2)以上の点について、下請業者についてもこれに準じ徹底すること。
- 13. セメント及びセメント系固化材を使用した改良土について
 - (1)セメント及びセメント系固化材を使用した地盤改良及び改良土を再利用する場合は、六価クロム溶出試験を行い、その結果について監督員に報告する。
 - (2)セメント及びセメント系固化材とは、セメントを含有成分とする固化材で、普通ポルトラ ンドセメント、高炉セメント、セメント系固化材、石灰系固化材をいい、これに添加物を加 えたものを含める。
 - (3) 六価クロム溶出試験は「セメント及びセメント系固化材を使用した改良土の六価クロム溶出 試験実施要領(案)」(以下「実施要領(案)」という。)により実施し、土壌環境基準を 超えないことを確認する。
- 14. アスベスト建材使用箇所等の事前調査
 - (1) 石綿等による健康障害を防止するため、とりこわし、改修工事の解体及び撤去等作業前、

図面・施工範囲目視、その他適切な方法によるアスベスト含有材料の有無について調査を行い、報告書を監督員に提出する。アスベスト含有材料が無かった場合においても書面にて報告を行う。

報告書の記載内容

- ① アスベスト材料の種別
- ② アスベスト形状、飛散可能性の有無
- ③ 製造所・製品名称、製造所の公表するアスベスト含有率 なお、上記調査において、アスベスト分析調査が必要な場合は別途監督職員と協議を行
- (2) 監督員の指示による「石綿(アスベスト)の事前調査結果」、「建築物等の解体・改修等作業に関するお知らせ」について、公衆の見やすい場所に掲示を行う。

15. 建設業退職金制度について

- (1)工事受注者は、自ら雇用する建退共制度の対象労働者に係る共済証紙を購入し、当該労働者の共済手帳に共済証紙を貼付すること。
- (2) 工事受注者が下請契約を締結する際は、下請業者に対して、建退共制度の趣旨を説明し下 請業者が雇用する建退共制度の対象労働者に係る共済証紙をあわせて購入し現物により交付 すること、または建退共制度の掛金相当額を下請代金中に算入することにより、下請業者の 建退共制度への加入並びに共済証紙の購入及び貼付を促進すべきこと。
- (3)請負代金の額が800万円以上の建設工事の請負契約を締結した時は、工事受注者は建退共制度の発注者用掛金収納書(以下「収納書」という。)を工事締結後1ヶ月以内に発注者に提出すること。なお、工事契約締結当初は工場製作の段階であるため建退共制度の対象労働者を雇用しないこと等の理由により、期限内に当該工事に係る収納書を提出できない事情がある場合又は、建退共対象労働者を使用しない場合においては、あらかじめその理由を書面により申し出ること。
- 16. 資材の市内産優先使用及び市内企業の優先採用
 - (1) 工事受注者は、本工事に使用する材料については、規格・品質等の条件を満足するものについては、市内産資材を優先使用するよう努めること。
 - (2)工事受注者は、工事用資材の調達に当たっては、極力市内の取扱い業者から購入すること。
 - (3)下請契約を締結する際には、市内企業の採用に努めること。
- 17. 再資源化及び再生資源等使用状況

工事受注者は、しゅん工時にコンクリート塊、アスファルト・コンクリート塊、木くずの再 資源化の状況、再生資源(再生クラッシャーラン、再生アスファルト・コンクリート、再生土 砂)及び信州リサイクル製品の使用状況について、監督員へ報告すること。

18. レディーミクストコンクリート製造工場の選定について

受注者は、I類コンクリートの製造工場を、JISマーク表示認証工場(改正工業標準化法(平成16年6月9日公布)に基づき国に登録された民間の第三者機関(登録認証機関)により認証を受けた工場)で、かつ、コンクリート製造に係る指導及び品質管理を行う施工管理技術者(コ

ンクリート主任技士等)が置かれ、良好な品質管理が行われている工場(全国品質管理監査会議の策定した統一監査基準に基づく監査に合格した工場等)から選定する。

ただし、これにより難い場合は、監督員と協議する。

19. 工事進捗状況報告書

監督員の指示により、毎月の工事の進捗状況を報告書にまとめて提出する。

添付書類

- ・工事記録(工事の経過に伴う主な工事内容等の事項を記載した月報)
- ・工事打合わせ記録簿(当月分)
- ・工事写真(工事の進捗状況がわかるものを数枚)
- 20. 施工図等の取扱い

施工図等の著作権に関わる当該建物に限る使用権は、発注者に移譲する。

21. 設計図CADデータについて

本工事の設計図CADデータを貸与する。貸与したCADデータは、本工事の履行に必要な施工図の 作成及び完成図の作成においてのみ使用することとし、それ以外の目的で使用してはならない。

22. 完成写真の著作権の権利等について

工事受注者は、完成写真の撮影者との契約にあたって、以下の事項を条件とすること。

- ① 完成写真は、市が行う事務並びに市及び市が認めた公的機関の広報に、無償で使用することができる。この場合において、著作者名を表示しないことができる。
- ② 以下に掲げる行為をしてはならない。ただし、あらかじめ発注者の承諾を得た場合は、この限りではない。
 - イ. 完成写真を公表すること。
 - 口. 完成写真を他人に閲覧させ、複写させ、又は譲渡すること。
- 23. 高度技術・創意工夫・社会性に関する実施状況の提出について

受注者は、工事施工において、自ら立案実施した創意工夫や技術力に関する項目、又は、地域社会への貢献として評価できる項目に関する事項について、施工に先立ち所定の様式により提出することができる。

高度技術・創意工夫・社会性等の具体的内容がある場合は、「別添様式」及び、「説明資料」 を提出すること。なお、用紙サイズはA4版とする。

24. 工期又は請負代金の額に影響を及ぼす事象に関する情報の通知について

落札者(随意契約の場合にあっては、契約の相手方)は、建設業法(昭和24年法律第100号第20条の2第2項に基づき、工期又は請負代金の額に影響を及ぼす事象が発生するおそれがあると認めるときは、落札決定(随意契約の場合にあっては、契約の相手方の決定)から請負契約を締結するまでに、契約を担当する者に対して、その旨を当該事業の状況の把握のため必要な情報を合わせて通知すること。

令和7年2月12日適用版

令和7年度 安曇野市消防団 第6分団第1部旧詰所 解体工事

令和7年度 安曇野市消防団第6分団第1部旧詰所解体工事

(解体工事)

図面リスト

	図面番号	図面名	SCALE			図面番号 図面名	SCA	SCALE		図面番号	図面番号 図面名	S C A	SCALE		図面番号 図面名	SCALE		
			四個石	A 2	A 3		凶叫钳方	凶風右	A 2	A 3		凶曲笛写	凶風右	A 2	A 3			A 2
	A — 01	図面リスト		non		s - 01	基礎、基礎詳細各図		図示		E -					м —		
	A - 02	特記仕様書		non		s - 02	鉄骨梁伏図		1/100									
	A - 03	外部・内部仕上表		non		s - 03	1階 木造床・小屋伏図		1/100	1/100								
	A — 04	位置図、配置図、仮設計画図		図示	解体工事	s - 04	2階 木造床・小屋伏図		1/100									
	A — 05	平面図、面積表		1/100	事	s - 05	軸組図用通り芯位置図		1/100									
	A — 06	立面図		1/100	構造	s - 06	軸組図01		1/100									
	A — 07	屋根伏図		1/100	造図)	s - 07	軸組図02		1/100									
解	A — 08	天井伏図		1/100					1/100									
解体工事	A — 09	展開図(1)		1/100						雷					機			
1	A — 10	展開図(2)		1/100						電気設備工事					機械設備工事			
(建築意匠図)	A — 11	展開図(3)		1/100						備工					備工			
匠図	A — 12	構造展開図(1)		1/100						事					事			
	A — 13	構造展開図(2)		1/100														
	A — 14	構造展開図(3)		1/100														
	A — 15	建具表		1/70														
						AS - 01	火の見櫓 各図		1/70									
					解体工事													
					事													
					意匠図													
					構造図)													
					図													

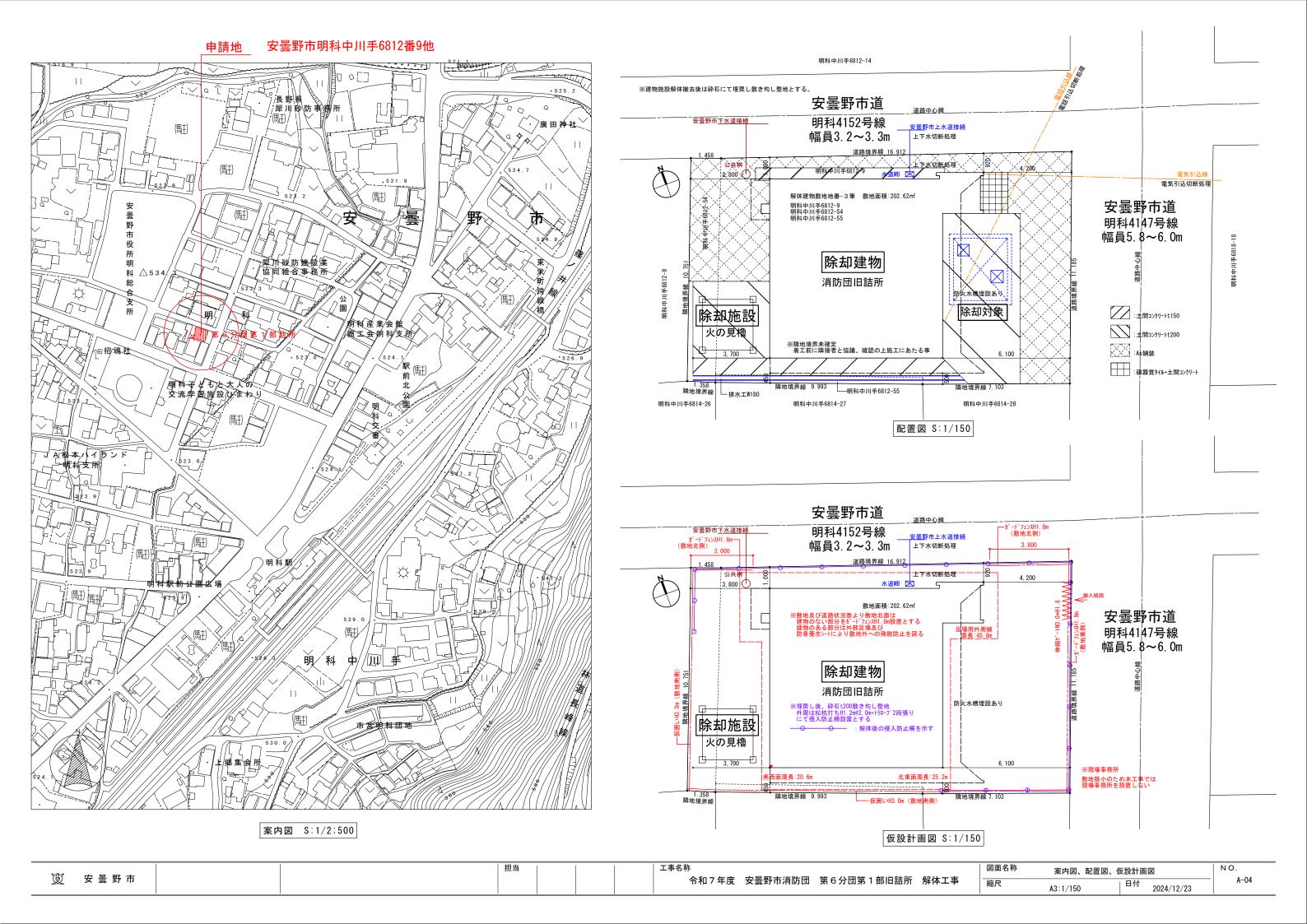
I 解体工事概要 1. 工事場所 2. 敷地面積 (㎡) 3. 除却対象物 除却対象建築物等 建物本体 II 解体工事仕様 1. 共通仕様 (1) 図面及び特 版 共通仕様で。 (以下「標仕」 (以下、「改札	○建築物 ・工作物 ・建築設備 ・家具等 ・樹木 〇 その他		電社の樹去 ・行う(※図示・) ・行わない 「外の別報去 ・行う(※図示・) ・行わない 「解体後の埋戻し 「行う なだらかに整地する。 要地高さ ・現状GL ・行う(※図示・) ・		回収及び処分を行う特殊な 対象機器名称 回収業者又は 保管場所の名称 建設制度物の種類 ・フロン ※監督員の承諾する業者 ※監督員の承諾する場所 ・ハロン 清火器 ※監督員の承諾する業者 ※監督員の承諾する場所 ・イオン化式感知器 ※監督員の承諾する業者 ※監督員の承諾する場所 ・ パふっ化硫黄(SF6)が λ ※監督員の承諾する業者 ※監督員の承諾する場所 ・ ※監督員の承諾する場所 ※監督員の承諾する場所	② 収集運搬車両 4. 騒音、振動調査 5. 土壌調査 ⑤ 官公庁その他への 届出手続等 ③ 契義に関する協議等 8. 文化財その他の埋蔵 ③ 埋蔵文化財調査	設計図書に定められた内容に疑義が生じたり、現場の納まり又は取合い等の関係で、設計図書によることが困難又は不都合な場合が生じたときは、監督員と協議する。 エ事の施工にあたり、文化財その他の理威物を発見した場合は、直ちにその状況を監督員に報告する。その後の措置については、監督員の指示に従う。また、当該理蔵物の発見者としての権利は、法律の定めるところにより、発注者が保有する。 「周知の理蔵文化財包蔵地」の該当 ・該当しない ・無 ・理蔵文化財調素の時期 ・ 解体工事を了後 ア降は工事中 本書請負額が500万円以上の工事については、工事実績情報(工事カルテ)の登録をすること。
章 項 目 1 ① 適用基準等 ②	載の () 内の表示番号は、解体共仕の当該項目を示す。	2. 現場利用する再資源(された建設廃棄物 された建設廃棄物 3. 産業廃棄物広域認定 制度の活用	(4.4.1) 名称 仕様 数量 備考 (4.4.2) 種類 所在地 ・図示・現場説明書による ・図示・現場説明書による	「	(1村料あたりの試料数) ※定性分析(※3 ・) ※図示 ・定量分析(※3 ・) ・仕上表による ※定性分析(※3 ・) ・役上表による ・定量分析(※3 ・) ・役上表による ・定量分析(※3 ・) ・役上表による ・定量分析(※3 ・) ・役上表による ・定量分析(※3 ・) ・仕上表による ・定量分析(※3 ・) ・仕上表による ・定量分析(※3 ・) ・仕上表による ・で変形が(※3 ・) ・仕上表による	(工事カルテ) の登録① 保険等② その他	するものとする。) 登録する場合は、あらかじめ監督員の確認を受け、次に示す期間内に(財)日本建設情報総合センター (JACIC)に登録の予続きを行うとともに、登録されたことを証明する資料を監督員に提出する。 なお、変更時と完成時の間が10日間に満たない場合は、変更時の提出を省略できるものとする。 ① 工事受法時 契約締結後10日以内 ② 登録内容の変更時 変更契約結結後10日以内 ③ 工事完成時 工事完成後10日以内 (連絡先: (財)日本建設情報総合センター 1003-3505-2973) 工事期間中請負者の責任において労災保険に加入し、その負担は請負者とする。 (1) 暴力団関係者から工事妨害による秘書を受けた場合は、被害届を連やかに警察に提出すること。 (2) 下請負契約締結後、連やかに下請負人通知書を提出すること。
 電気保安技術者 施工条件明示項目 引渡しを要するもの 係体工事施工技士 	※適用する ・適用しない (1.3.3) ・現場説明書 (1.3.5) ※引波しを要するもの (1.3.10) 名 称 位 様 等 ・現場説明書による 本工事を適切に施工管理するため、解体工事施工技士の選任等に配慮すること。	④ 最終処分する 建設廃棄物 5. 処理に注意を要する	(4. 4. 4) 名 称 最終処分場の種類 数 量 備 考 (本、4. 4) (本、5. 4) (本、4. 4. 4) (本、5. 4) (本、4. 4. 4) (本、5. 4) (本、5. 4) (本、5. 4) (本、5. 4) (本、5. 1)	 アスペスト粉じ 濃度 アスペースト含 吹付材の除去(レベ 	#		(3) 下記業権等については、建設工事に関連性をもち、元請負人の指揮、調整のもと行われるものであため施工体制台帳、施工体系図、契約書及び下請負人通知書等整備すること。また、下記業種同等と考えられるものについても、同様に整備すること。 ・ 交通整理員、ガードマン・産業廃棄物処理業者 ・ ダンブ運転(1人親方のダンブ運転手) ・ 1日で完了する請負契約、小額な作業・雑工・労務のみ単価契約の請負契約 ・ クレーン作業、コンクリートポンプ打設等日々の単価契約で行っているもの ・ クレーン等の重機オペレーターを機械と一緒にリース会社から借上げる場合 ・ 他の会社から応援者を借上げ、請負契約を締結した場合(臨時雇用関係である場合を除く) (4) 本工事について、公共工事労務費調査、資材調査、建設副産物実態調査等県から調査依頼があった。合は、これに協力すること。 (5) 施工途中において、会計局検査課職員及び発注機関の長が指定する職員による、抜打ち検査を実施る場合においては、これに協力すること。
② 監督員事務所	・防音パネル ・成形鉄板 ご防炎シート、防音シート等 (2.2.1) 設置範囲及び高さ ※図示・ 数水方法 高圧ポンプ等 (数水員 1名以上常駐) ※設ける ○設けない。 規模 ・10 m程度 ・20 m程度 ・() m程度 (2.3.1) 構内販存の施設 ○利用できる ※有償 ・無償) ※利用できない	建設廃棄物	名 称	4. アスペ・スト含 保温剤の除去 (レベ ⑤ アスペ・スト含 成形版の除去 (レベ	/2) 解体共性 6. 4. 2によるほか、部位・内容に応じた除去は専門工事業者の仕様で監督職員の承諾する ものとする。 除去物及び汚染物質等 ※密封処理 (二重袋梱包) 隔離養生に用いたシート、使用した使い捨て保護衣、高性能真空掃除機フィルタ、粉じん機フィルタ 等についても密封処理を行う。 「アスペスト含有成形板の除去方法 (6. 5. 2)		(6) 施工途中において、既存施設の破損等生じた場合は、監督員に報告の上、施工者の責任において 適切に原状復旧すること。
③ 工事用電力 3 1. 杭の解体 談	構内販存の施設 ●利用できる ※有債 ・無債) ※利用できない ・行う ・行わない (3.8.2) 抗の解体工法 ・ 破砕による解体 樹木の伐採抜根 (3.9.1) ・行う(※関策・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	5 1. 施工調査	②カドミウム混入石膏ボード 商 品 名 : アドラセっこうボード 工 場 名 : 日東石膏ボード㈱八月工場 裏面表示マークは「日東石膏ボード株式会社」 製 造 期 間: 平成4年10月~平成9年4月 JIS許可都号: 265023、265024 ロット番号 : A4Y410~A9430	7 ① 工事現場の環境で改善にご	地域七民への作制提供 ・情報掲示板の設置 ・パンフレットの作成 住民に対する災害防止関係 ○現場出入口周辺への誘導員の配備		
③ 地下埋設物	・行う(※図示・) ・行わない 地下埋設物及び埋設配管の解体	等国の等物業廃業産組管別特	(5. 1. 3) 分析調査を行う特別 採取する節位 採取する数量 備 考 管理産業廃棄物等の種類 又は箇所等 通宜 モニタリング ・ 箇所 ・ 安定器 (PCB) ・ 図示 適宜 ・ 一 ・ 適所 ・ 図示 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	② 産業廃棄物の取扱いについ	意業廃棄物処理状況記録及び写真を次のように整備すること。 (1) 搬出された産業廃棄物の理域状況記録 ① 処理の金額又は一部を委託した場合 ② 収集運搬車両ごとの産業廃棄物管理票(以下「マニュフェスト」という。)A票、B2票、D票及 E票 (港I の場合はB4票を加える。)の零し、建設廃棄物処理委託契約書の写し並びに搬出 解体材の数量禁計表 4 最終処分場の案内図及び処分状況の写真(中間処理にあっては中間処理施設の案内図及び中間処理状況の写真) ② 請負者が自ら処理した場合 ② マニュフェストに準じた解体材の種類ごとの数量集計表 4 最終処分場の案内図及び処分状況の写真(中間処理にあっては中間処理施設の案内図及び中間処理状況の写真) ③ 特別管理産業廃棄物の場合 ①又は②に準ずる。ただし産業廃棄物管理票とあるを特別管理産業廃棄物管理票と除み替える。 (ii) 産業廃棄物の再資源化実施状況記録 再生資源利用促進実施書に配載する事項 発生量、搬出先名称、区分、施工条件の内容、搬出先名称、運搬距離、搬出先の種類等 (iii) 写真 ① 工事着手前の現場全景、周辺及び対象建築物等の現況写真 ② 仮設物、安全措置状況及び工程写真(除出作業状況、理談配管等及び基礎類は入念に撮影すること) ③ 使用機械類 ④ 産業廃棄物収集運搬車両への結込み時及び精隆し時の写真 ⑤ しゅん工時の全景写真(着手時と同一アングルとする。) ⑥ その他監督員の指示による	図面名称	

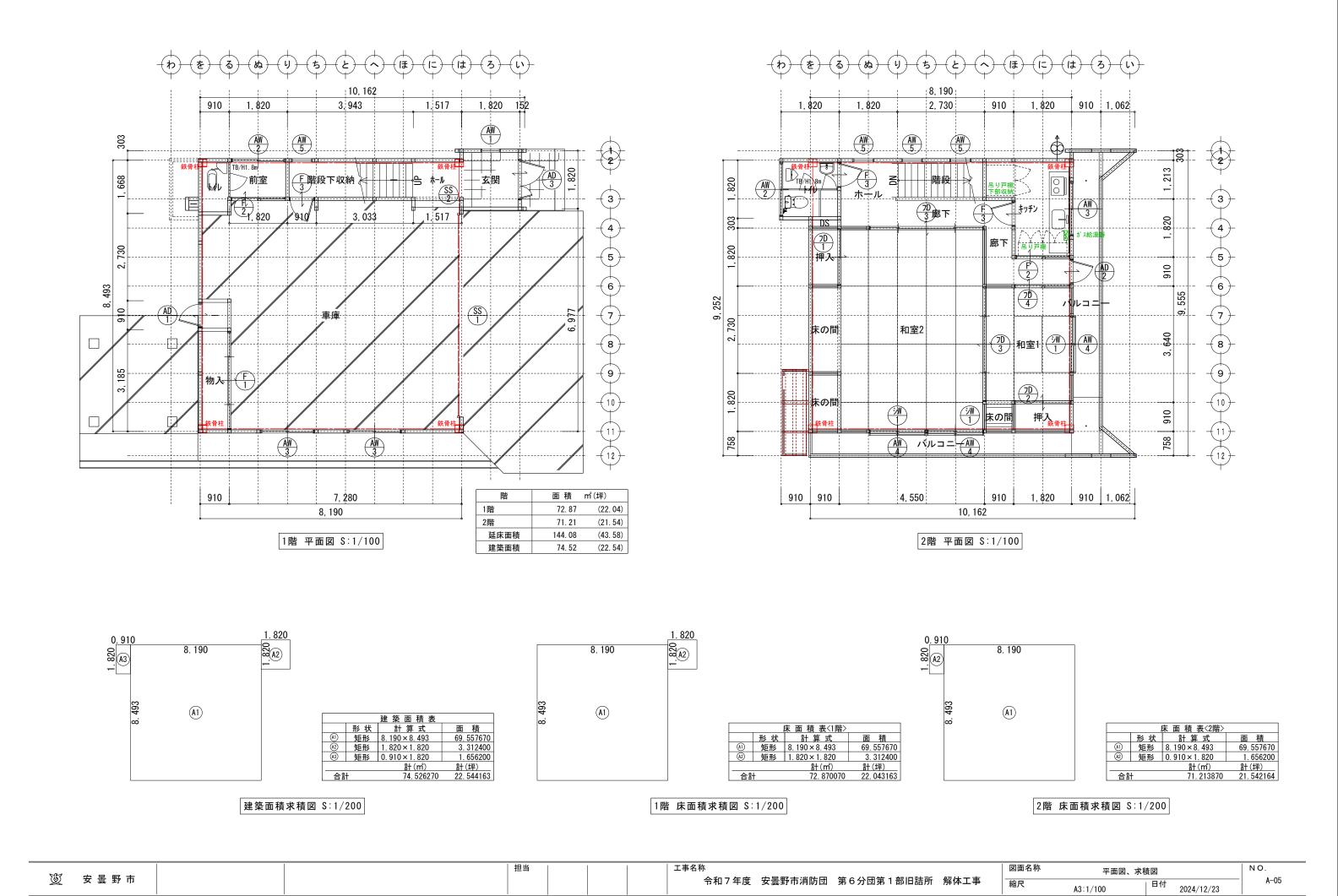
外部化				
屋根		軒どい	 建 具	
破風,唐草	. 为-鋼板 加工	竪どい	 外部/内部土間	土間コンクリート金銭押さえ
軒天	木製羽目板/塗装		 断熱材	_ 天井:グラスクールマット _t100
庇	カラー鋼板 加工	外 壁		床 : 押出法ボリスチレンフォーム保温板 t80 異形 基礎 : 鉄筋コンクリート 独立基礎 一部布基礎
基礎巾木			その他	^_5/5/9_; 床防水シート_立上りH100_ <mark>77A^、ストL3</mark>

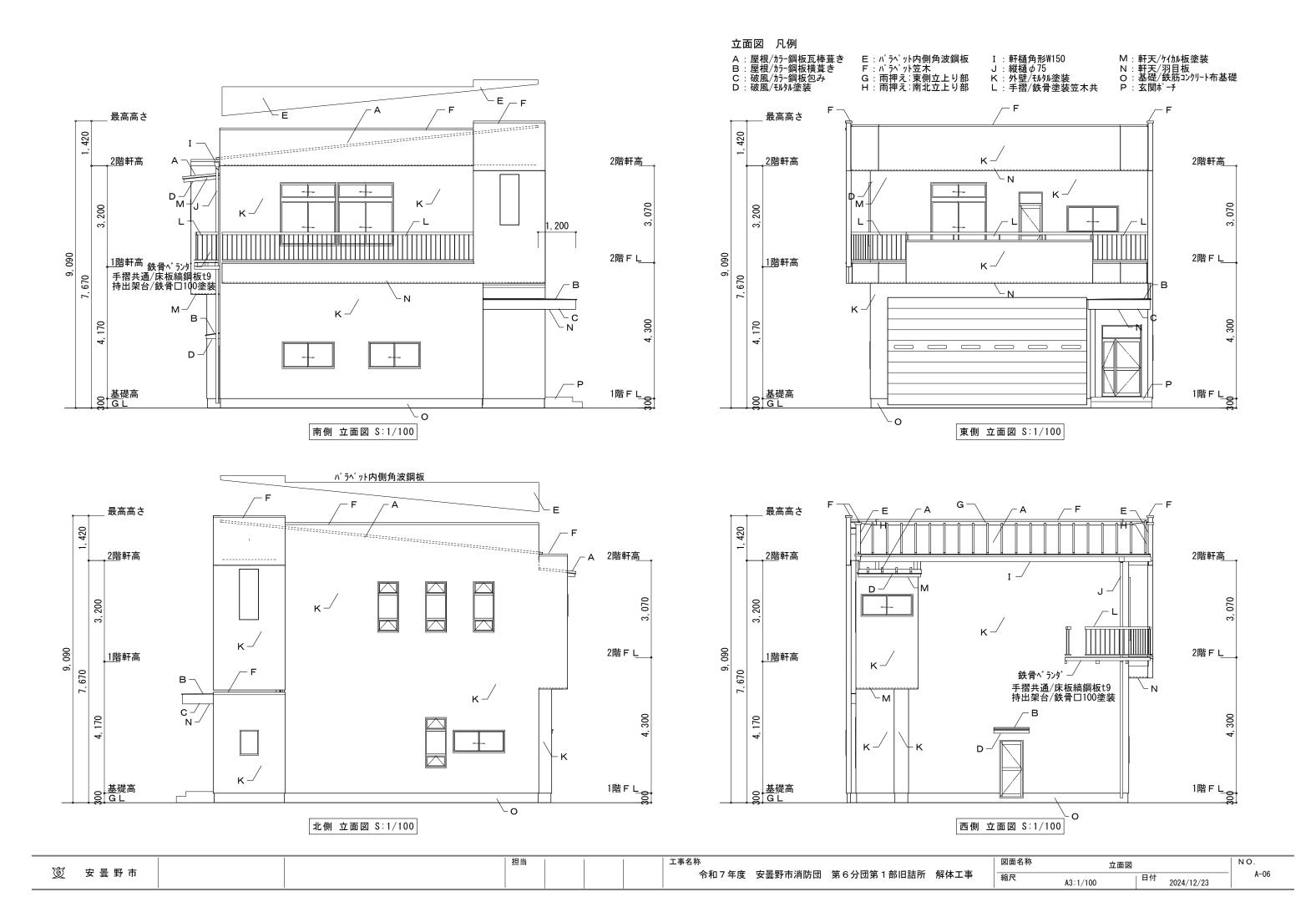
i	室 名	床	床高	巾木	中木高 腰壁	中間壁一般部	上部壁	壁仕上 告示 天井仕- 壁下地 1436号 天井下5		廻り縁	天 井	天井高	備考	室
		磁器質タイル	-180	<u></u>	180	L* =ルクロス				塩ビ製	- 石膏ボードt9.5 塗装	2580		
	玄関	tl/yl/下地		タイル目地 <u>7スペストL3</u>		石膏ボード t12.5							造付け下駄箱	
		クッションフロア	±0	木製	75	t* =ルクロス				塩ビ製	石膏ボードt9.5 _塗装	2400		
	ホール					石膏ボード t12.5								
		土間コンクリート金鏝押え	-450	tルタル塗装	100	モルタル <u>塗壁 塗装 プスペ・ストL3</u>		L		塩ビ製	_ 石膏ボードt9.5 _ 塗装	3850		
	車庫					メタルラス下地								
		土間コンクリート金鏝押え	-450	なし	モルタル <u>塗壁</u> 塗装 <u>アスベストL3</u>	ピ=ルクロス				木製	化粧石膏ボードt9.5	2400		
	トル前室				メタルラス下地	石膏ポート゚ t12.5				H20				
		磁器質タイル	-450	なし	モルタル塗壁 塗装 <u>アスベストL3</u>	ピニルクロス		L		木製	化粧石膏ポート゚t9.5	2400		
	トイレ	ŧルタル下地			メタルラス下地	石膏ボード t12.5				H20			和便器 タンク付	
		土間コンクリート金鏝押え	-450	なし		モルタル <u>塗壁 塗装 <mark>アスベストL3</mark></u>				木製 H20	化粧石膏ボードt9.5	2800		
B	階段下収納					メタルラス下地						勾配あり		
		土間コンクリート金鏝押え	-450	なし		tuyu塗壁 塗装				木製 H20	化粧石膏ボードt9.5	2400		
	物入					メタルラス下地			1	H20		Ī		
						1,7,7,7,1,2								
	İ			1				[-1			Ī		
		クッションフロア <mark>アスヘ・ストレ</mark> 3 ノンスリップ・タイヤ				L* ニルクロス				塩ビ製	- 石膏ボードt9.5 塗装			
	階段	モルタル下地 鉄骨階段		##575 9 9		石膏ボード t12.5		l	-1					
		クッションフロア <mark>アスペ[*] ストL3</mark>	±0	木製	75	ピ=ルクロス				塩ビ製	石膏ボードt9.5 塗装	2400		
:	ホール	土間コンクリート下地 デッキプレート		1	<u>*</u>	石膏ボード t12.5			-1					
		クッションフロア <mark>7スペストL3</mark>	±0	木製	75	ヒ*ニルクロス				塩ビ製	石膏ボードt9.5 塗装	2400		
	廊下	土間コンクリート下地 デッキプレート		7		石膏ボード t12.5			-1					
		クッションフロア <u>アスへ、ストL3</u> 下地/フローリンク、床t12 胴縁下地組t18	30	大製	75	上。ニルクロス				塩ビ製	t゙ニルクロス 石膏ボードt9.5	2370	流し台 吊り戸棚。造付け収納	
	キッチン	土間コンクリート下地 デッキプレート		754		石膏ボード t12.5						120/0	が 7. 旅場器 換気扇	
		貴 t60	100	畳寄せ	60	聚楽塗り				木製	杉柾目 合板プリント材 t6	2500		
	和室 1		100	4				<u> </u>		2重H75		2000		
			100	景奇女	60	聚楽塗り				木製	t^=ルクロス合板t6	2050		
	床の間		100	上	<u>0</u> 0	- 「永未至・フ		<u> </u>		H30		2000		
	W11-10-11-2		100	畳寄せ		化粧合板t3				四分一	ル 新 会 振 + 2	2350		
	押入	化粧合板t6	100	直前比		101221000		l		H30		2330		
	11.27	B +00	100	豊寄せ		聚楽塗り				木製	格天井 ビニルクロス 石膏ボードt9.5 一部合板下地t6	2600		
	和室 2	<u>貴</u> t60 断熱材t70異形 土間コンクリート下地 デッキプレート	100					} 		2重H75		2000	 梅気扇	
	111 ± 2		100	B		5スボード下地t6 化粧合板t3				四分一	11.W- A IF. 10	0000		
	押入		100	景奇世		15/11 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1		 		H30	化粧合板t3	2300		
	1千八	102 // 464 // 10	200			THE NAME OF THE				木製	1/17 F A 15-2 W 144 1A	2500		
	床の間 1	楼化粧地板	220	<u> </u>		聚楽塗り		 		· H30	杉柾目合板プリント材t6	2500		
	トン目 !	193 // 44-14-15	400			ラスボード下地t6			+ +	木製		0500		-
	床の間 2	欅化粧地板	100	畳寄せ		聚楽塗り		ł		<u>不</u> 製 H30	杉柾目合板プリント材t6	2500		
	床の目2	Market and a state of the state				ラスポ [*] ート [*] 下地t6			+					
		塩ピシート <u>アスペストL3</u>	±0	なし	<u> まいクル塗壁 塗装 アスペストL3</u>	L*=1/07X		ł		木製 H20	石膏ボ-ドt9.5_ 塗装	2400		
	トイレ	土間コンクリート下地 デッキプレート	-		メタルラス下地	石膏ボード t12.5			+	H20		-	洋式便器 小便器 手洗器	-+
				ļ				ļ						
			-						+					\longrightarrow
1				1				1 1 1				1		

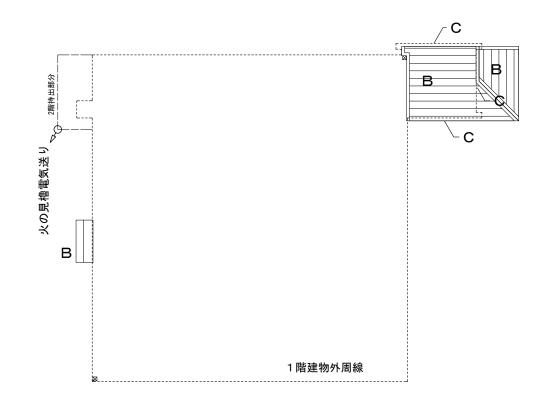
特記事項		
	舅 付蒂施設 _ 設備	
	火の見櫓 建物西側に股置あり 鉄骨造 火の見櫓図面参照	L
	防火水槽 建物東側に埋設あり 配置図参照	
	外部十間コン 肝設コンリート 配置図参昭	
	外部鋪装 既設アススアルト 配置図参照	<u> </u>
	雨水排水溝	

707 中星 服 士	担当	工事名称	図面名称	外部・内部仕上表	NO.
変 安曇野市		令和7年度 安曇野市消防団 第6分団第1部旧詰所 解体工事	縮尺	A3:1/non 日付 2024/12/23	_ A-03





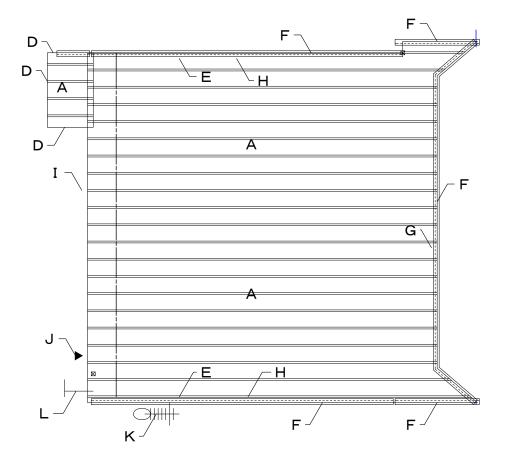




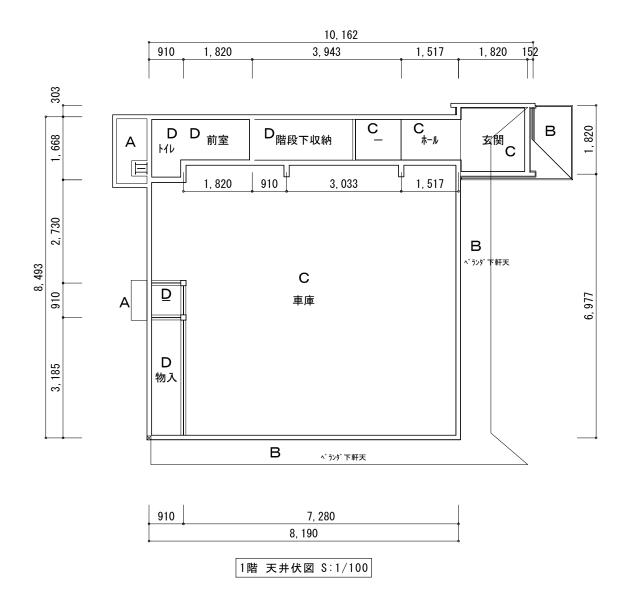
1階 屋根伏図 S:1/100

◀:縦樋落し口 ―----:雪止めアングル L40*40*3

	屋根伏図 凡例		
Α	A 長尺カラー鋼板瓦棒葺き		パラペット笠木 カラーGL鋼板加工
	アスファルトルーフィンク 72へ、		雨押え東側立上り部 120*30*H150
B 長尺カラー鋼板横葺き		Н	雨押え南北立上り部 120*30*H150
	アスファルトルーフィング <mark>アスペスト含有/L3</mark> 野地合板t12	I	軒樋150*150
С	破風:長尺カラー鋼板包みW300 下地板t24	J	縦樋φ75
D	D 破風: モルタル塗装W150		T V アンテナ 地デジ+BS
E	パラペット内部立上り部角波鋼板	L	防災無線受信用アンテナ

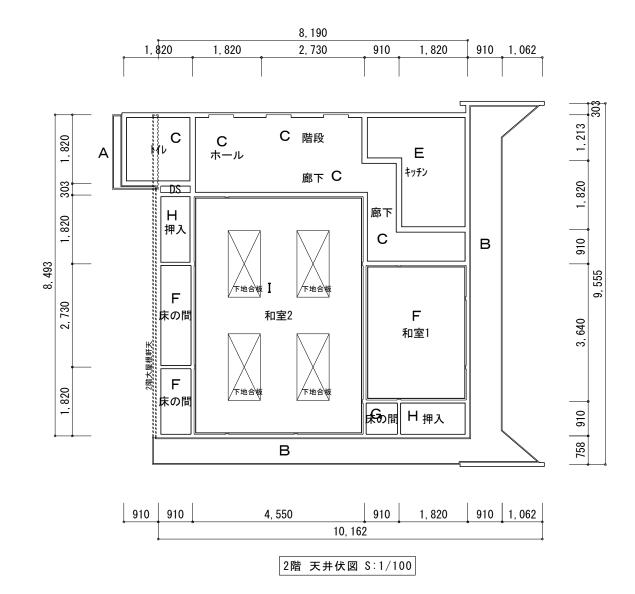


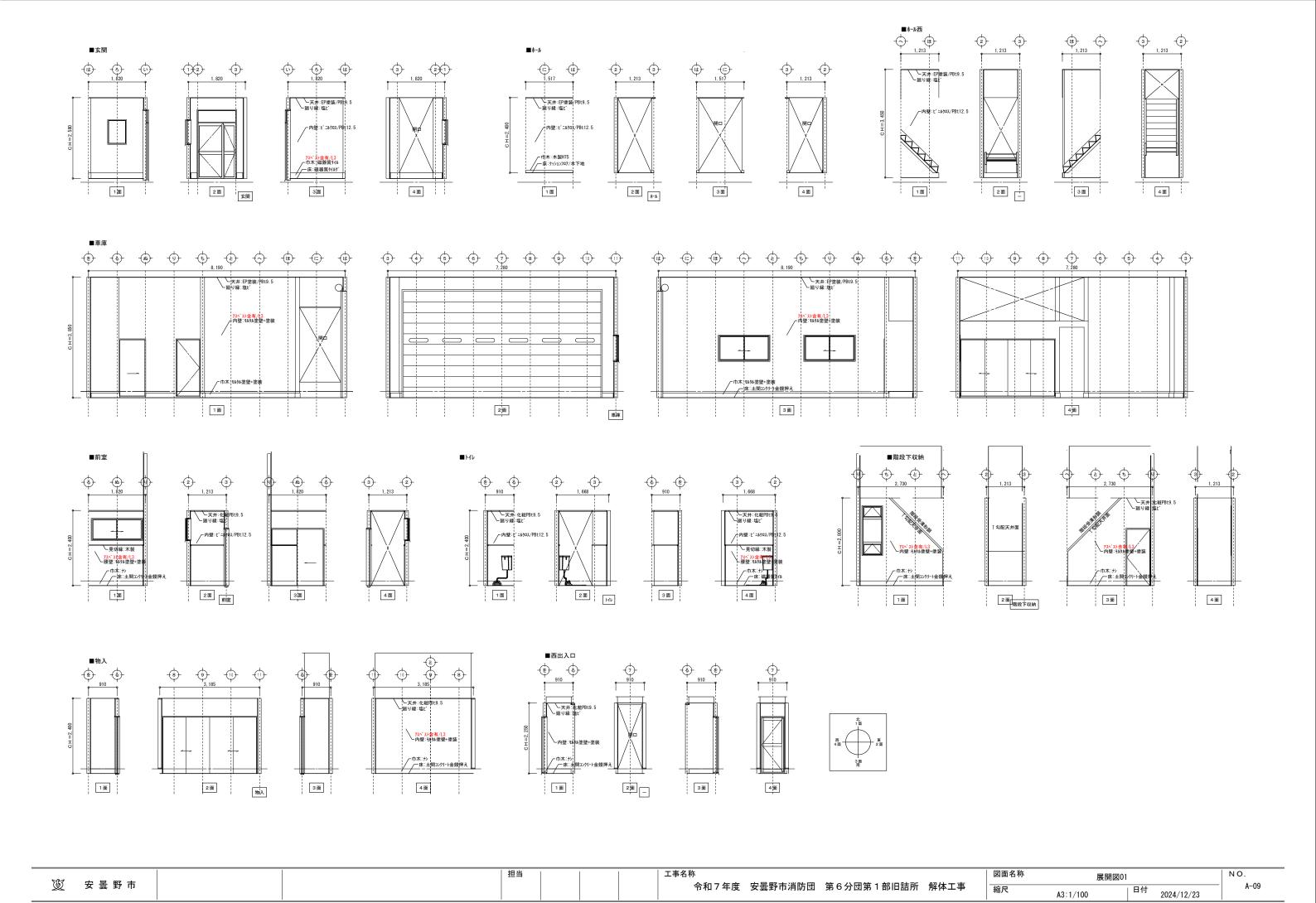
2階 屋根伏図 S:1/100

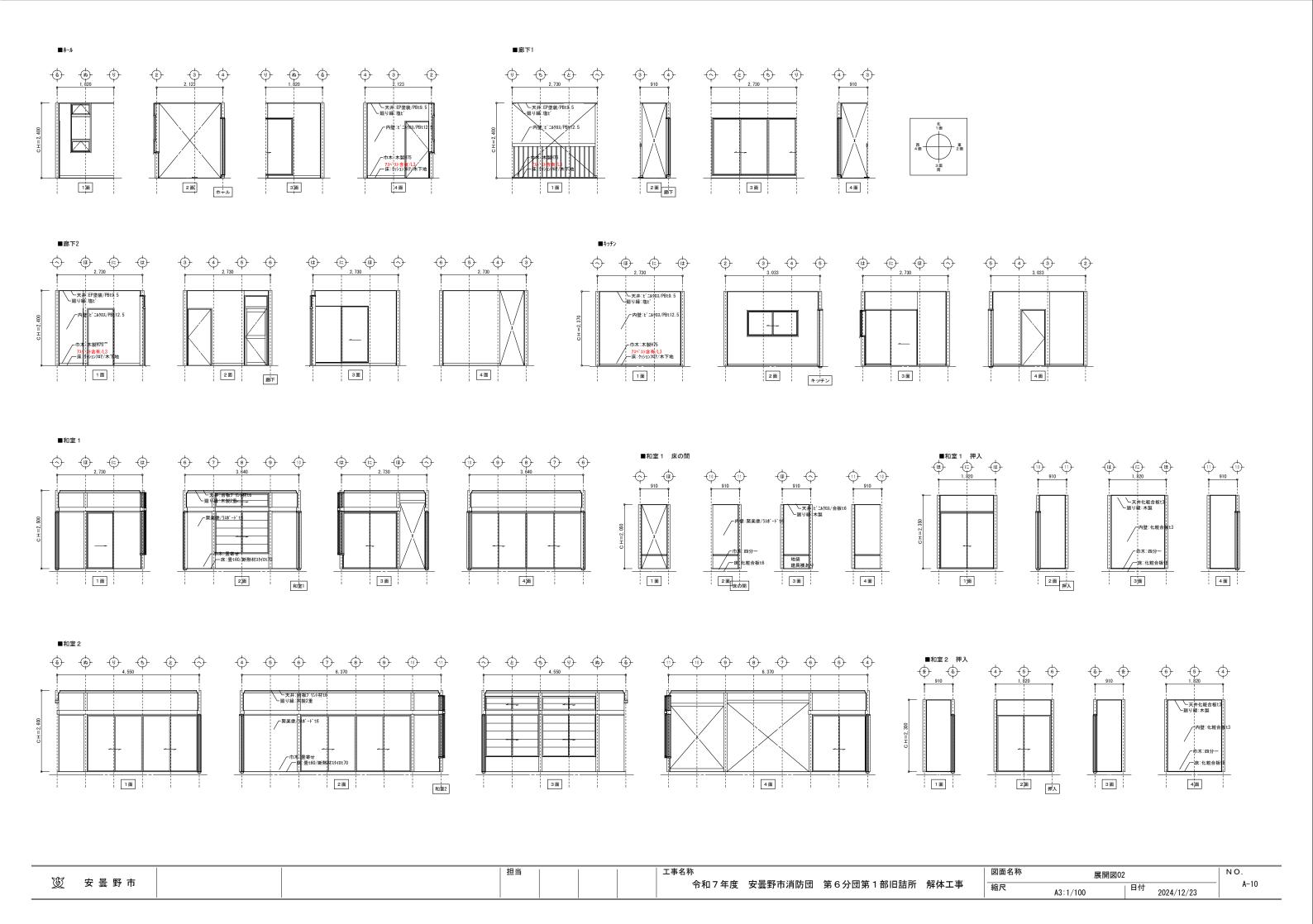


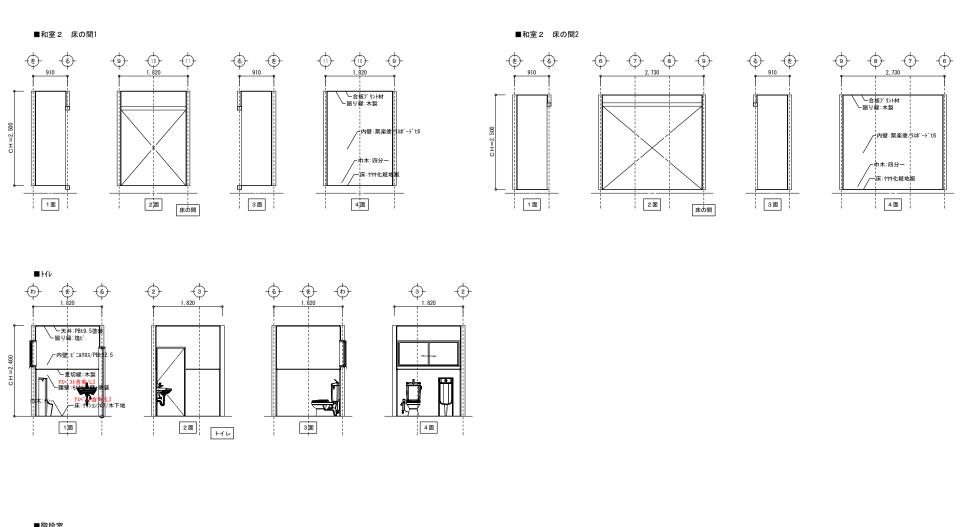
: 天井点検口450

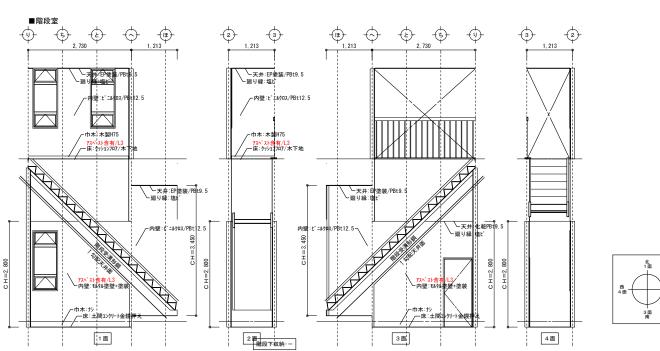
	天井伏図 凡例		
Α	珪酸カルシウム板/リシン吹付	Н	化粧合板t3
В	木製羽目板t9/塗装	I	格天井:石膏ボードt9.5/ビニルクロス 一部合板下地t6
С	石膏ボードt9.5/塗装	J	
D	化粧石膏ボードt9.5	K	
E	石膏ボートt9.5/ビニルロス	L	
F	杉柾目 合板プリント材 t6	М	
G	合板下地t6/ビニルクロス	N	



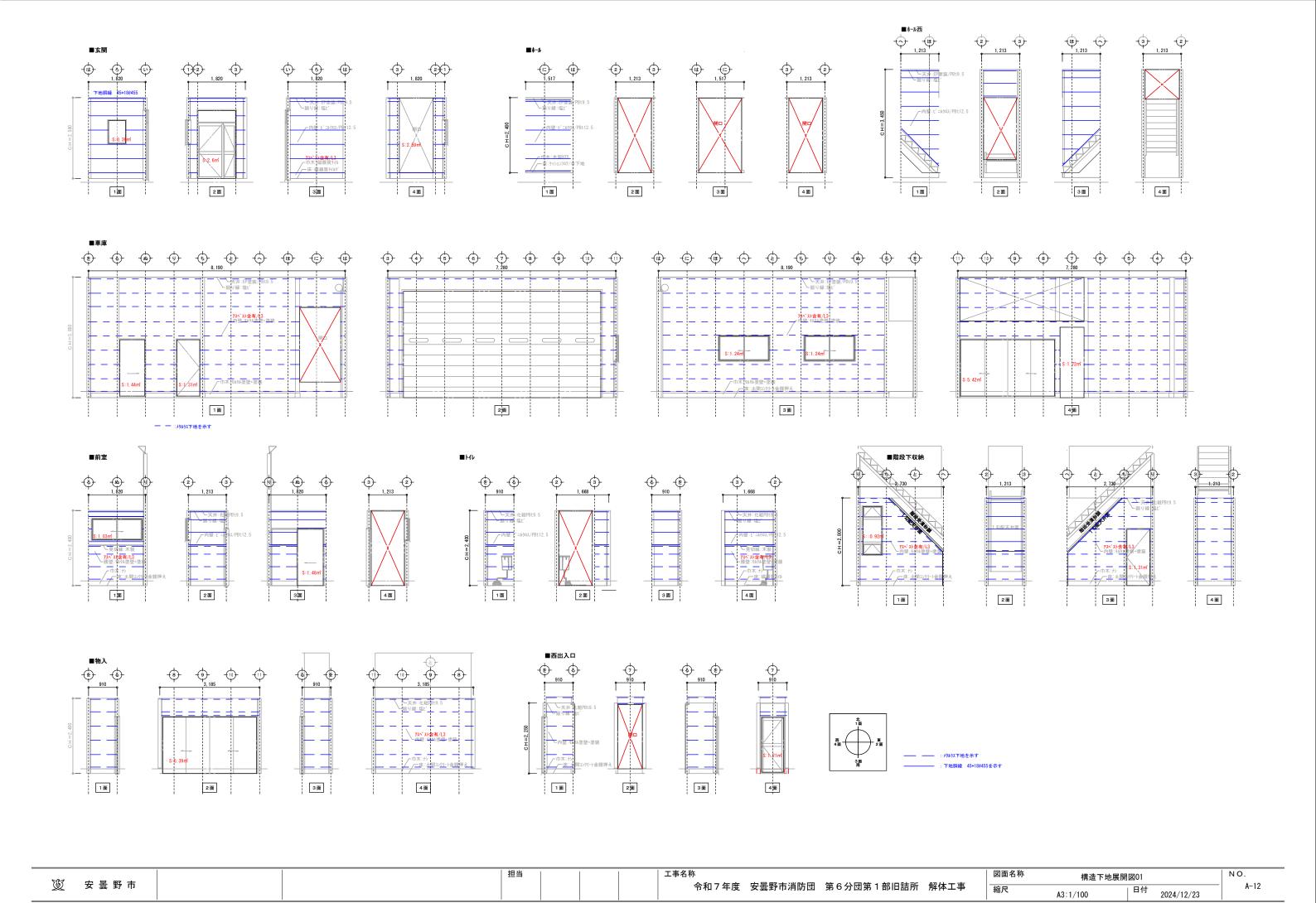




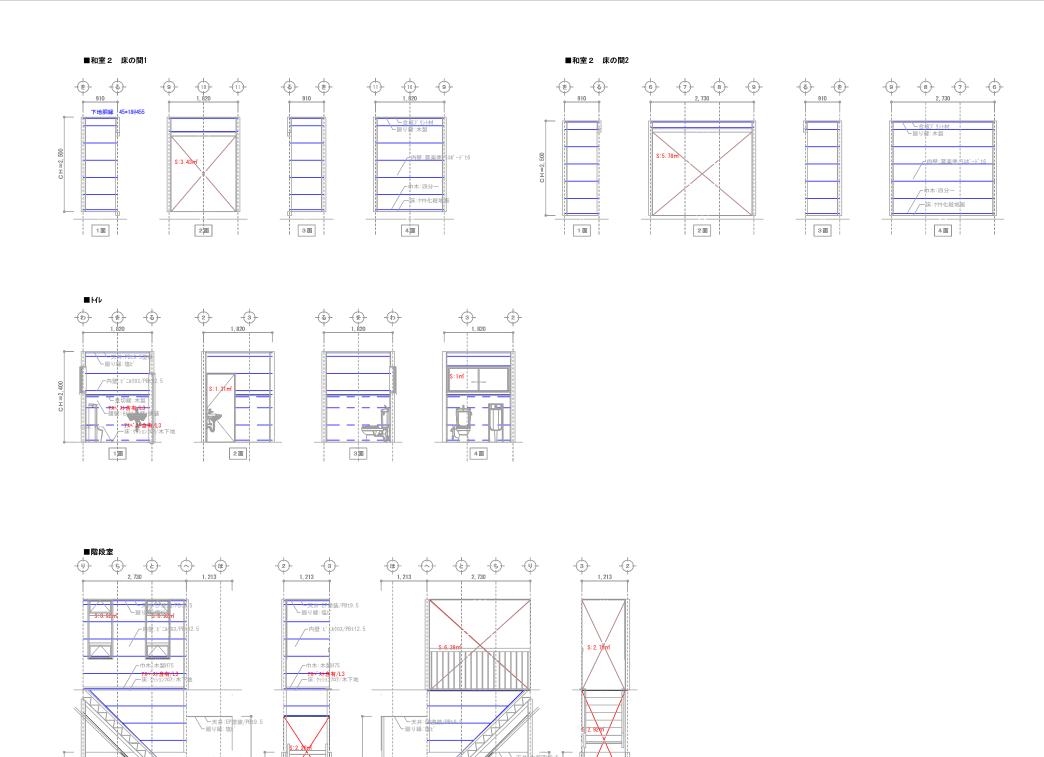




	担当	工事名称	凶面名称	展開図03	NO.
変 安曇野市		令和7年度 安曇野市消防団 第6分団第1部旧詰所 解体工事	縮尺	A3:1/100 目付 2024/12/23	A-11







4面

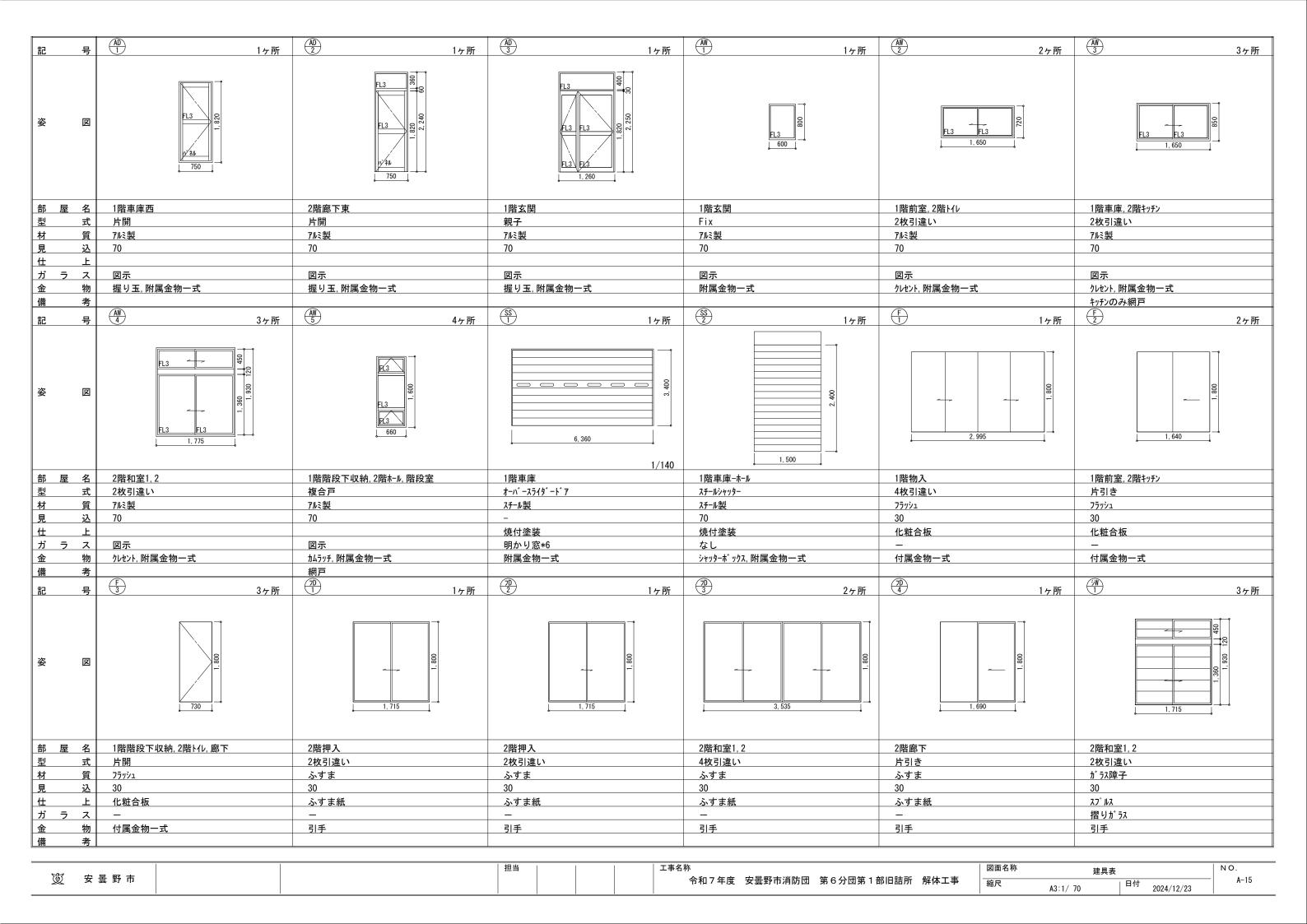
1 面

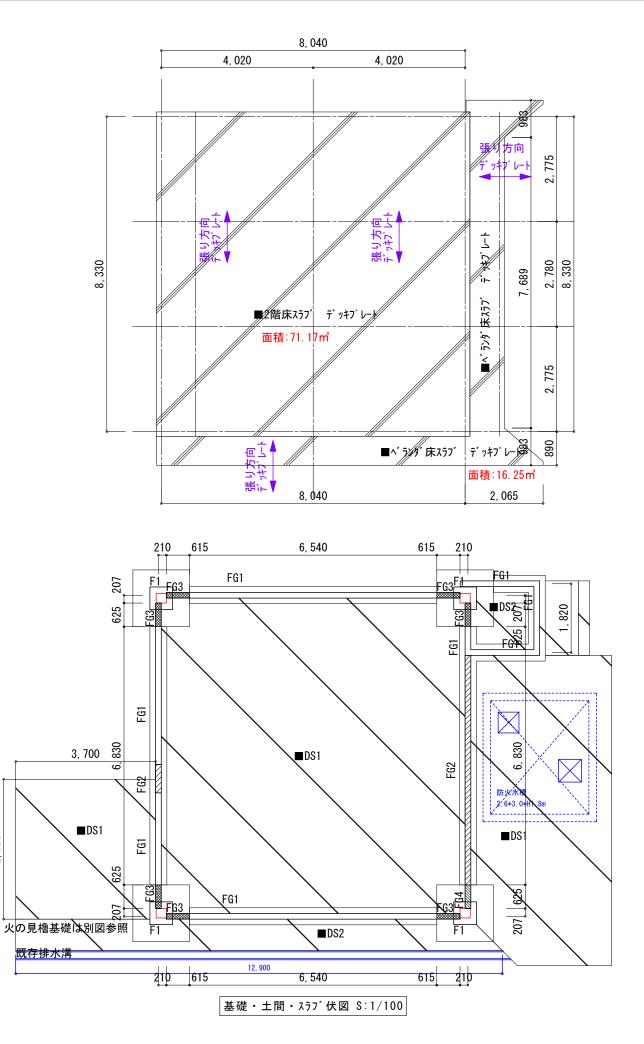
2面

3 0

	担当	工事名称	図面名称	構造下地展開図03	NO.
<u> </u>		令和7年度 安曇野市消防団 第6分団第1部旧詰所 解体工事	縮尺	A3:1/100 目付 2024/12/23	—— A-14

-----: : タタルラス下地を示す
-----:: 下地胴縁 45*18@455を示す

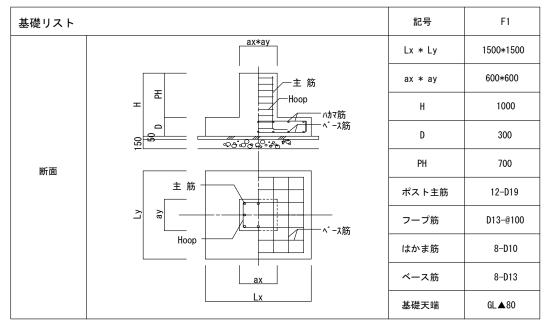


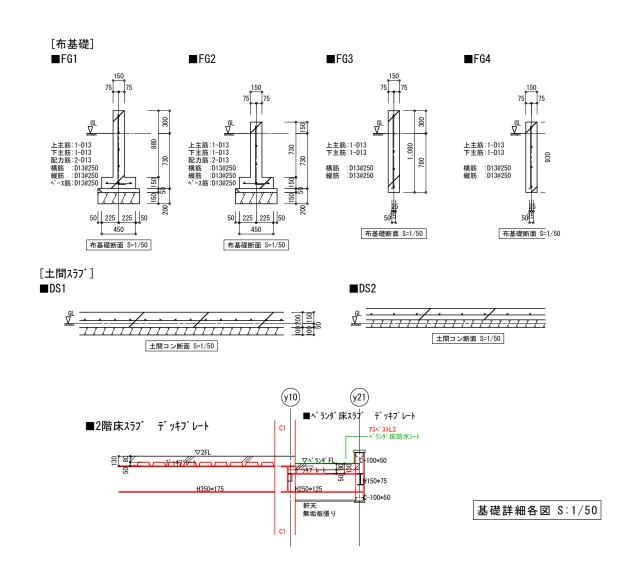


3, 700

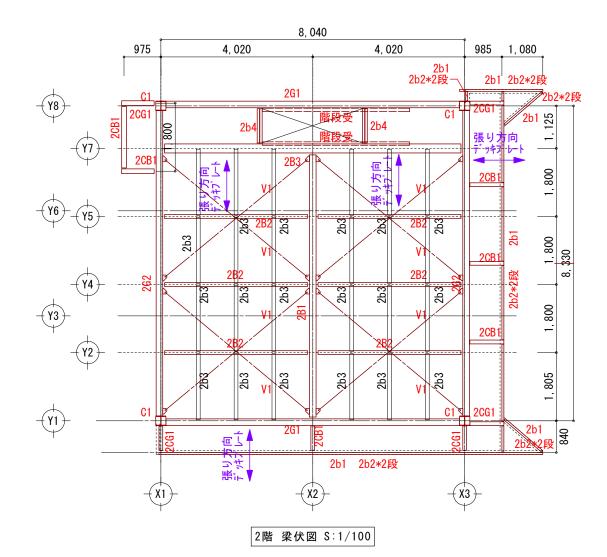
[独立基礎]

■F1





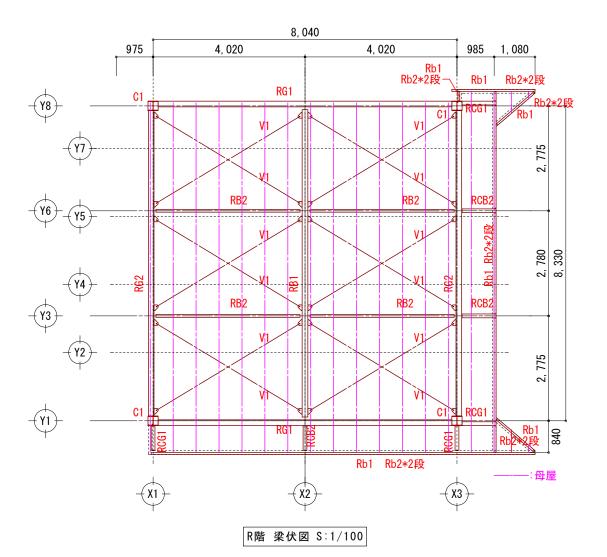
563	安曇野市	担当		工事名称	図面名称	基礎・土間・スラプ伏図、基礎詳細各図	NO.
V	女 雲 野 巾			令和7年度 安曇野市消防団 第6分団第1部旧詰所 解体工事	縮尺	A3:1/100.50 目付 2024/12/23	S-01



柱リスト		
設計マーク	鋼材寸法	備考
101	H-250*250*9 柱加工	
1C1	平鋼-250*9	開口面に平鋼溶接
陛 段 马	· 基形纲-300*00*0*13	

ブレースリスト			
設計マーク	鋼材寸法		備考
V1	FurB-16x1ッ穴	TB	

梁リスト				
設計マーク	鋼材寸法	備考		
2G1	H-350*175*7*11			
2G2	H-350*175*7*11			
2B1	H-350*175*7*11			
2B2	H-200*100*5. 5*8			
2B3	H-340*250*9*14			
2CG1	H-250*125*6*9			
2CB1	H-250*125*6*9			
2b1	H-150*75*5*7			
2b2	C-100*50*2.3/上下	壁受材		
2b4	C-120*60*3.2/二重			
2b3	φ100木製丸太小梁 吊木受材			



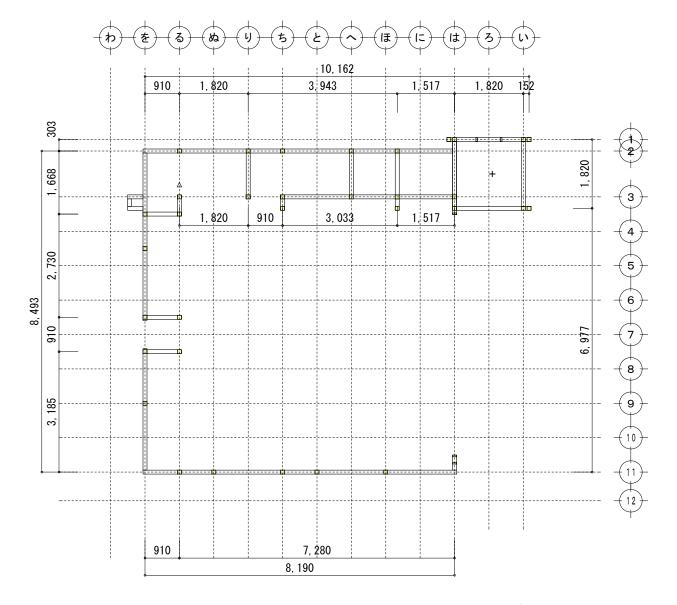
梁リスト

柱リスト			
設計マーク	鋼材寸法		備考
1C1	H-250*250*9	柱加工	
1C1	平鋼-250*9		開口面に平鋼溶接

ブ・レースリスト			
設計マーク	鋼材寸法		備考
V1	FurB-16x1ッ穴	TB	

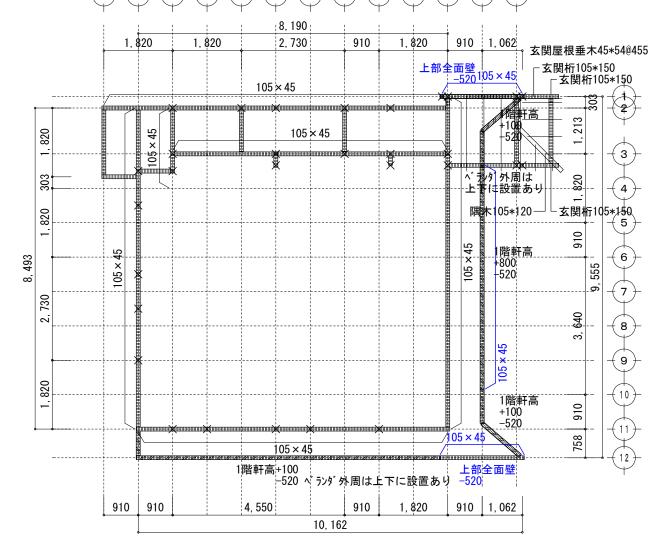
設計マーク	鋼材寸法	備考
RG1	H-300*150*6. 5*9	
RG2	H-300*150*6. 5*9	
RB1	H-300*150*6. 5*9	
RB2	H-200*100*5. 5*8	
RCG1	H-200*100*5. 5*8	
RCB1	H-200*100*5. 5*8	
Rb1	H-150*75*5*7	
Rb2	C-100*50*2.3/上下	
母屋	C-100*50*2. 3@607	

深 安暑野市	カ 景 駅 ナ	工事名称	図面名称	鉄骨梁伏図	NO.
义 女雲野巾		令和7年度 安曇野市消防団 第6分団第1部旧詰所 解体工事	縮尺	A3:1/100 目付 2024/12/23	S-02



□ :柱105*105 □ : 半柱105*52.5 == : 土台105*105

1階 床伏図 S:1/100



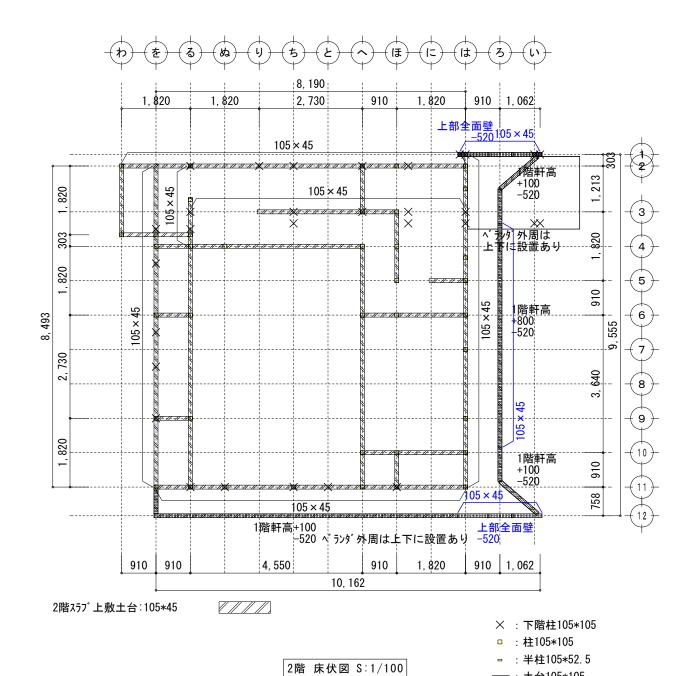
1階鉄骨梁下-頭つなぎ:105*45 |||||||||||||||

× : 下階柱105*105 □ :柱105*105

1階 小屋伏図(鉄骨梁下) S:1/100

- : 半柱105*52.5 == : 土台105*105

% 中星眼士	担当	図面名称	1階 木造床・	小屋伏図	NO.		
変 安曇野市			令和7年度 安曇野市消防団 第6分団第1部旧詰所 解体工事	縮尺	A3:1/100	日付 2024/12/23	S-03

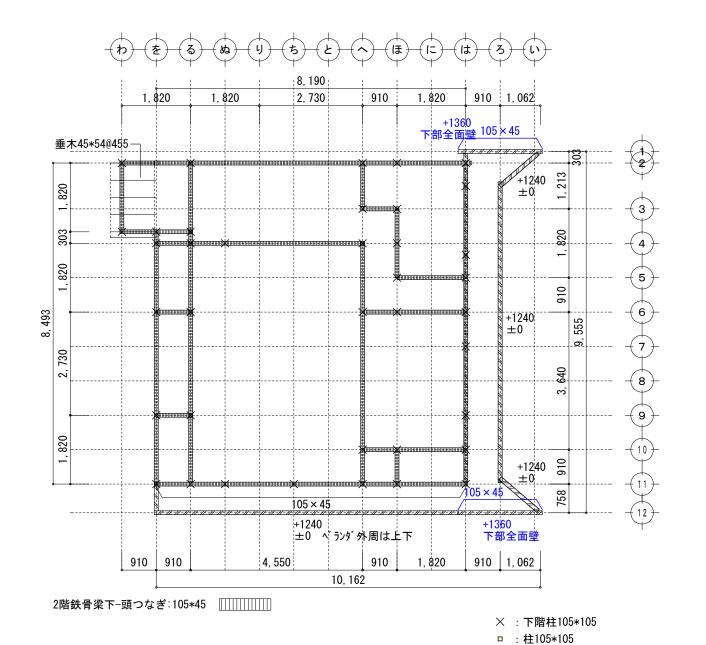


変 安曇野市

== : 土台105*105

担当

工事名称

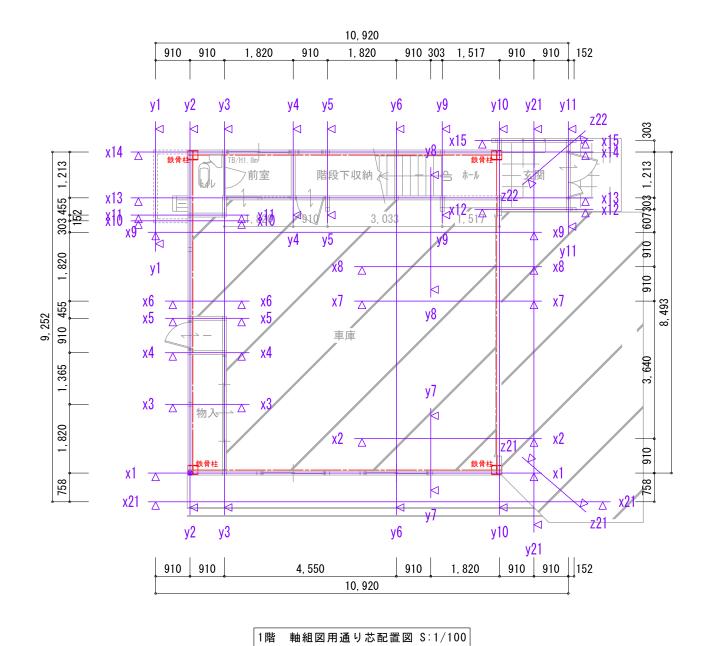


2階 小屋伏図(鉄骨梁下) S:1/100

| 図面名称 2階 木造床・小屋伏図 NO. S-04 | S-04

- : 半柱105*52.5

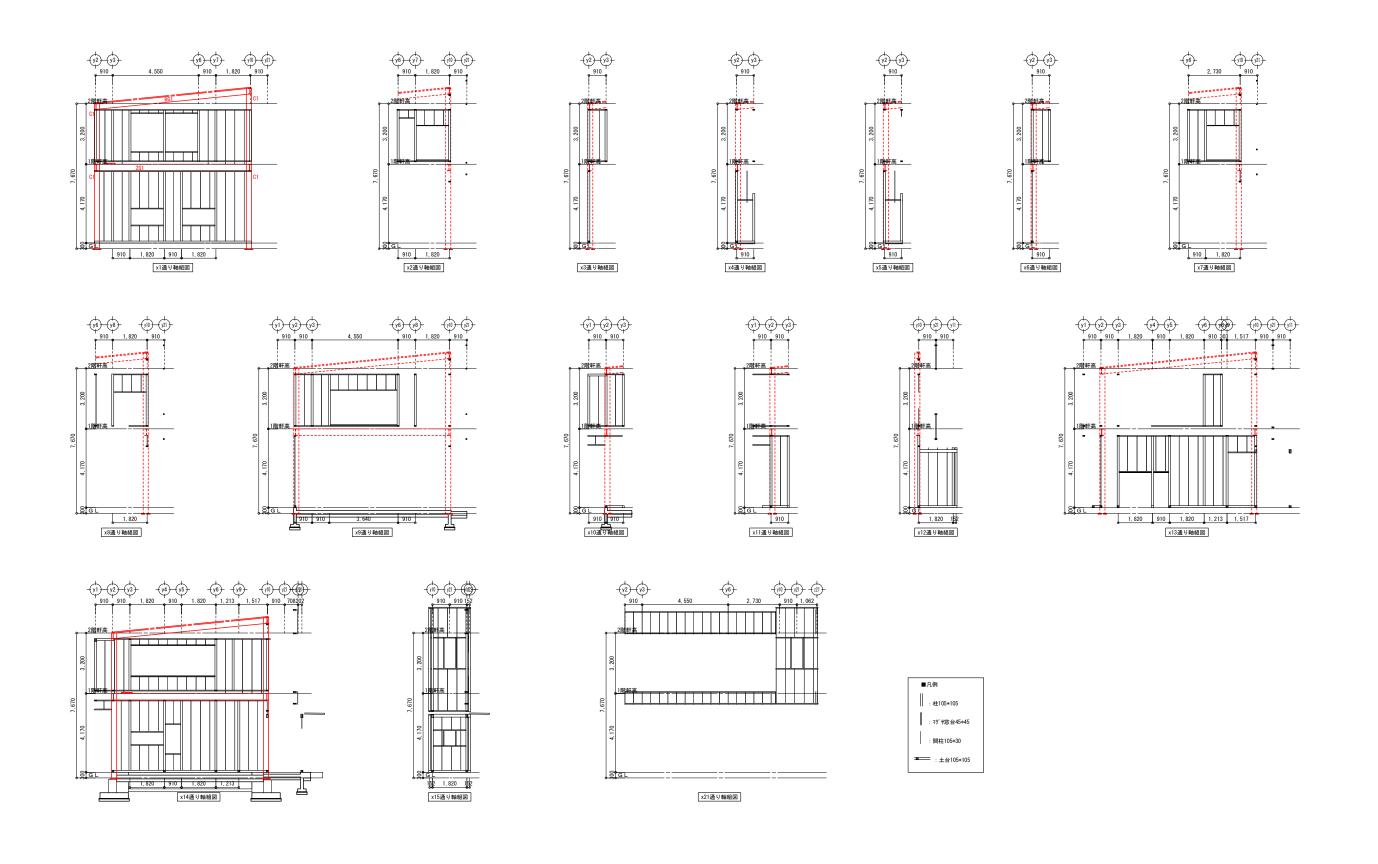
== : 土台105*105



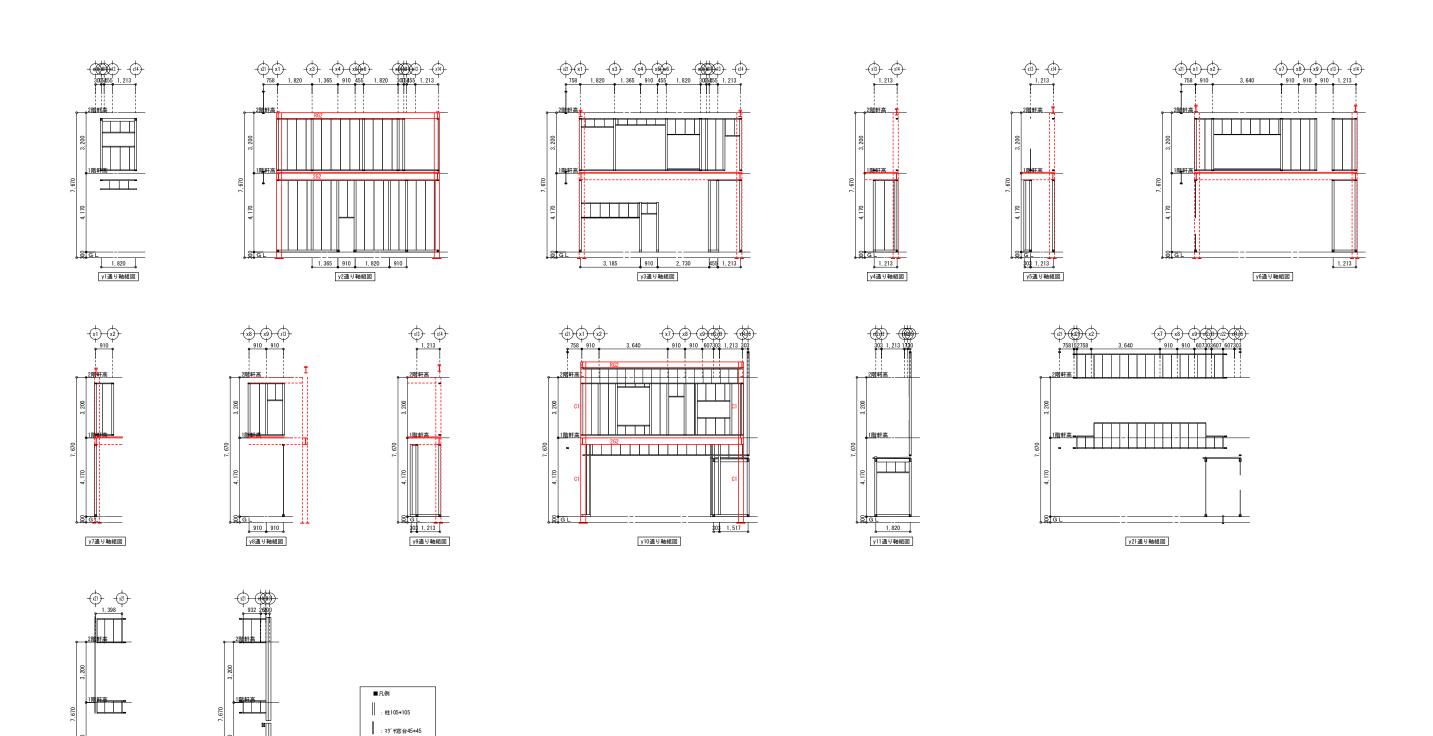
910 303 1,517 910 1, 820 910 1, 820 z22 910 | 910 | 607\$0\$ 1,213 | 303 x14 🔼 303 455 1, 213 √廊下 x8 和室2 和室1 床の間 バルコニー x21 z21 y10 y2 910 1,820 910 910 152 910 910 4, 550 10, 920

10, 920

2階 軸組図用通り芯配置図 S:1/100



8 1 8 8 1	担当	上事名称	図面名称	軸組図01	NO.
変 安曇野市		令和7年度 安曇野市消防団 第6分団第1部旧詰所 解体工事	縮尺	A3:1/200 目付 2024/12/23	S-06

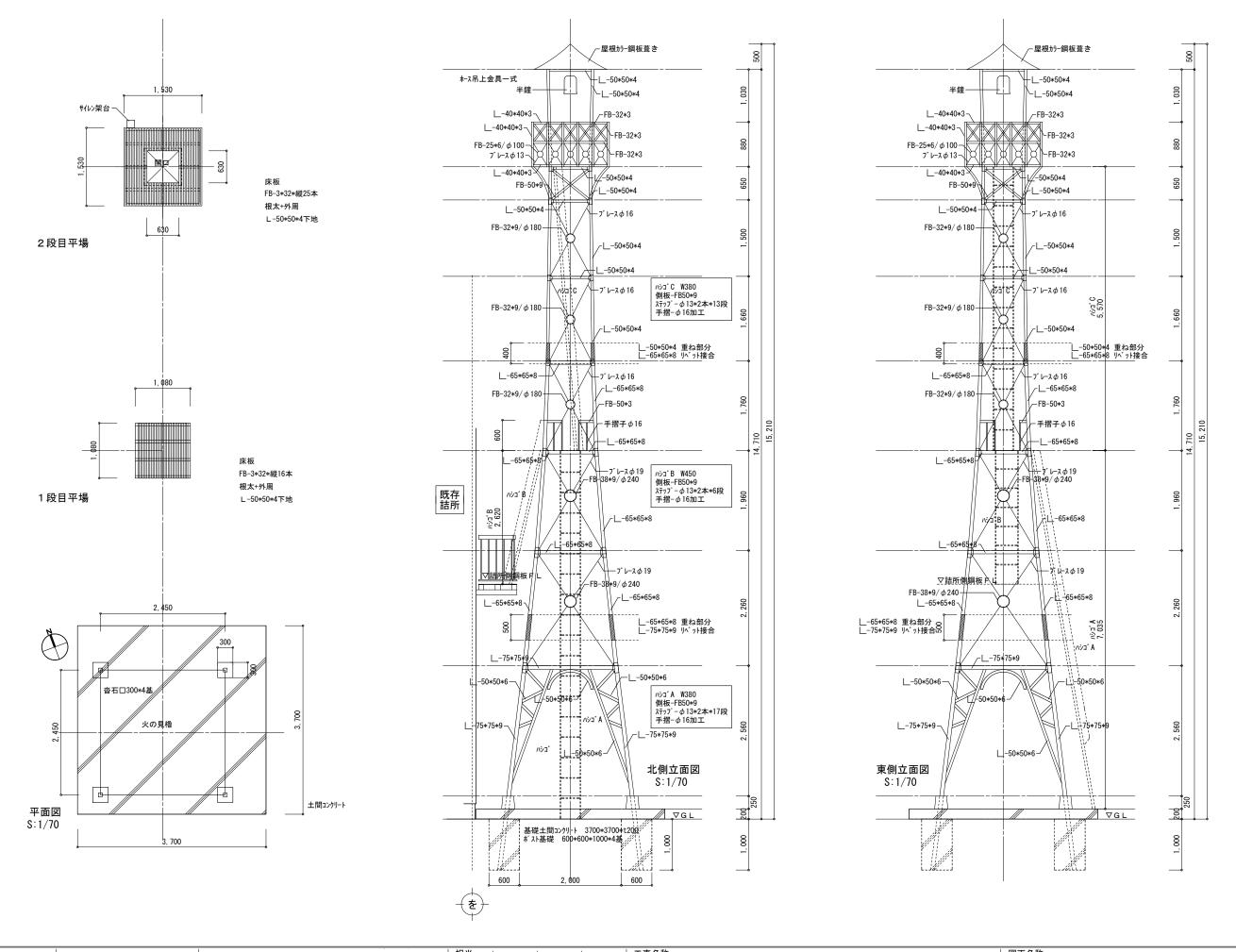


: 間柱105*30

z21通り軸組図

z22通り軸組図

	担当	工事名称	図面名称	軸組図02	NO.
変 安曇野市		令和7年度 安曇野市消防団 第6分団第1部旧詰所 解体工事	縮尺	A3:1/200 目付 2024/12/23	_ S-07



	担当	上事名称	凶面名称	火の見櫓 各図	X	NO.
変 安曇野市		令和7年度 安曇野市消防団 第6分団第1部旧詰所 解体工事	縮尺	A3:1/ 70	日付 2024/12/23	AS-01